TOSHIBA

東芝デジタルオーディオプレーヤー

gigabeat U101/U201/U102/U202

取扱説明書

U101/U201

U102/U202

自動車内での本機の使用について！

自動車内にはカーステレオ、カーナビ等運転中の操作を前提に設置されている機器があります。
これらは運転中には細心の注意をして取り扱うことが前提とされています。
一方で携帯電話、ポータブルオーディオプレーヤー、ポータブルDVDプレーヤー等、自動車本体に設置されていない機器を自動車内に持ち込み使用する場合がありますが、特に携帯電話に関しては事故の例が多々あり法律で運転中の単独使用が禁止されています。
gigabeatも同様に運転中の操作、運転中に画面を見ること等、安全な運転操作に支障をもたらすような使用方法をしないでください。
カーステレオ等と同様に、緊急自動車のサイレン、警笛、踏み切りの警報音等が聞こえない状態にならないようご注意願います。
東芝は運転中の使用に関し、使用が前提で引き起こされる事故等に関し一切の保証や責任を負いません。
お客様の責任において細心の注意を払ってご使用ください。

お客様の健康のために！

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。また、長時間連続しての使用は避けてください。大きな音量で聴き続けると、難聴その他の障害の原因になるおそれがあります。通常の音量であっても長時間の使用によっては、難聴などになるおそれがあります。医学的にも悪影響が指摘されています。

周囲の人たちへの配慮も忘れないようにご留意ください。

はじめに

このたびはgigabeatをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に取扱説明書をよくお読みください。

ソフトウェアおよび取扱説明書について

- 添付（付属の CD-ROM）のソフトウェアおよびこの取扱説明書の一部または全部を許可無く転載したり複製したりすることはできません。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書は、お客様のパソコン等で使用できます。
- 添付のソフトウェアおよびこの取扱説明書にそって機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 意匠、仕様およびこの取扱説明書の内容は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
- この取扱説明書で記載している本機およびパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。また、記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

本製品について

本製品は、Windows Media DRM10の技術を利用しています。本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外で前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

商標について

- gigabeatは株式会社東芝の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windowsロゴ、Windows Vista、Windows Vistaロゴ、Windows Media、Windows Mediaロゴは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 取扱説明書に記載の商品の名称は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

著作権について

- お客様が記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法によって、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の適用を受けます。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

FMトランスミッターについて

- 日本国内の電波規格に準拠した機能です。海外ではご使用にならないでください。

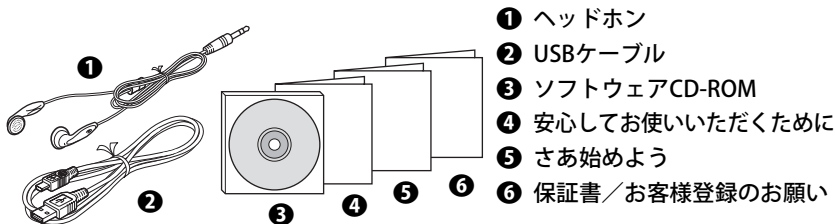
データについて

- 本製品やパソコンの不具合で、音楽データやその他のデータが破損または消去された場合、そのデータ内容の補償はできません。

ラジオ・テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

付属品を確認する

以下の付属品が同梱されています。万一付属品が不足・破損していた場合はすぐモバイルAVサポートセンターにご連絡ください。

同梱物は修理の際に必要となりますので、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意

商品（または製品）本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときはUSB ケーブルを取りはずし、電源を切ること

そのまま使用すると火災・やけどの原因となります。修理はモバイルAVサポートセンターにご依頼ください。

異物や水などが機器の内部にはいったときはUSB ケーブルを取りはずし、電源を切ること

そのまま使用すると火災の原因となります。モバイルAVサポートセンターにご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したりしたときはUSB ケーブルを取りはずし、電源を切ること

そのまま使用すると火災の原因となります。モバイルAVサポートセンターにご連絡ください。

分解・改造・修理しないこと

火災の原因となります。修理、内部の点検はモバイル AV サポートセンターにご依頼ください。

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

火災の原因となります。端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

航空機内や病院内など、使用を禁止された場所では電源を切り、使用しないこと

使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因となります。
離着陸時に本機を使用することは航空法で禁止されています。

水がかかる場所で使用しないこと

火災の原因となります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場・シャワー室で使用しないこと

火災の原因となります。

歩行中、自動車・オートバイなどを運転中に操作しないこと

転倒・交通事故の原因となります。
周囲の音に気付かずに、思わぬ事故にあう原因となります。

梱包に使用しているプラスチック袋でお子様が遊んだりしないように、注意すること

指　示

かぶったり飲み込んだりして窒息するおそれがあります。

機器から液がもれたり、異臭がしたりするときは、直ちに火気から遠ざけること

指　示

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
もれた液に引火し、破裂する原因となります。モバイルAVサポートセンターに修理をご依頼ください。

内蔵電池は、指定された充電方法以外で充電しないこと

禁　止

火災・破裂・発熱の原因となります。

火のそばや炎天下などで充電したり、放電しないこと

禁　止

内蔵電池から液もれし、引火・破裂の原因となります。

⚠注意

湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと

禁　止

火災の原因となることがあります。

移動させるときは USB ケーブルをはずすこと

指　示

USBケーブルが傷つき、火災の原因となることがあります。

付属の CD-ROM を音楽用CD プレーヤーなどで再生しないこと

禁　止

ヘッドホンやスピーカーを破損したり、耳を傷めたりするおそれがあります。

持ち運ぶときに振り回さないこと

禁　止

人やものにぶつけたりしてけがの原因となることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないこと

禁　止

破損して火災の原因となることがあります。

機器から液がもれたときは、液には触れないこと

機器からの液もれは、内蔵電池からの液もれです。
液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目にはいったときは、すぐにきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師に相談すること

この商品に使用している材料、表面処理によって、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないこと

耳を刺激するような大きな音量で聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。また、破損してけがの原因となることがあります。

表示画面に衝撃を与えないこと

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液がもれたりすることがあります。内部の液が目にはいったり、体や衣服についたりしたときはきれいな水で洗い流してください。

目にはいった場合は、その後医師の診察を受けてください。

乳幼児の手の届かないところに保管すること

けが・事故の原因となります。

布やふとんの上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってキャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。
- 表示画面に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものといっしょにかばんなどに入れると、押されたときなどに壊れるおそれがあります。
- 殺虫剤や揮発性の薬品などの付着を避けてください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色や、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。
- 機器に無理な力を加えないでください。内部の部品に大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。

使用する場所について

- gigabeatをラジオ、テレビ、携帯電話などの近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、gigabeatを離してご使用ください。
- 混雑した電車内などで、大きな音量で聴くと周囲の迷惑になります。

結露（露付き）について

- gigabeatを寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときや、寒い室内で急に暖房したようなときには、本体の表面に水滴が付くことがあります。このような場合には、内部にも水滴が付いていることがありますので、電源を入れずに1時間ほどたってからご使用ください。結露が生じた場合、故障、誤動作、記録済み内容の消失などの原因となります。

お手入れに関すること

本体のよごれはやわらかい布（ガーゼなど）で軽くふき取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。

- ベンジンやシンナーなど有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本体表面を変質させます。
- 油汚れなどが付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものをやわらかい布にしみこませ、それを固く絞って汚れをふき取り、その後、温水に浸して固く絞った布で洗剤を十分にふき取ってください。ただしわずかに表面が変質することがありえます。あらかじめご承知ください。
- 特に表示画面については気をつけてください。

音楽CDについて

- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのはいったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質などの保証はいたしかねます。また、故障の原因となる場合もあります。

内蔵電池について

- 内蔵電池は、gigabeatを使用しなくても少しずつ自然放電していきます。gigabeatを長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電しきる場合があります。その場合は、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません。）
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。充分に充電しても使える時間が極端に短くなったときは内蔵電池が劣化しています。モバイルAVサポートセンターに依頼して、新しい電池と交換してください。
- 内蔵電池が放電しきったことによって、記憶データが変化・消失することがあります。この場合、記憶データの変化・消失について当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

内蔵電池のリサイクルについて

gigabeatの内蔵電池は、リチウムイオン充電池を使用しています。リチウムイオン充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。gigabeatを廃棄する際には電池を取り出し、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

有限責任中間法人JBRC

TEL：03-6403-5673

ホームページ：http://www.jbrc.com

廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。
電池の取り出しかたについては、「内蔵電池の取り出しかた」（➔160ページ）をご覧ください。

ユーザー登録のお願い

- ユーザー登録をしていただいたお客様には、gigabeatに関するサービスや製品情報の案内をさせていただく場合がありますので、下記webサイトで、ユーザー登録にご協力いただきますようお願いいたします。
  http://room1048.jp/

バージョンアップについて

- 出荷以降、より良くお使いいただくために、ファームウェア（gigabeat内部）のバージョンアップをする場合があります。バージョンアップの方法などはホームページに掲載いたします。
  gigabeatホームページ　http://www.gigabeat.net/
  ホームページをご覧いただけないお客様は「モバイルAVサポートセンター」へお問い合わせください。

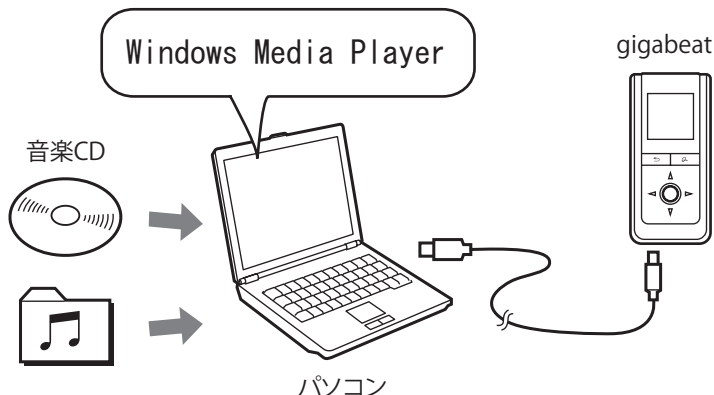
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

- 本タイプのgigabeatには、フラッシュメモリが内蔵されています。フラッシュメモリを使用していた状態のまま廃棄・譲渡すると、フラッシュメモリ上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。廃棄・譲渡するときは、フラッシュメモリ上のすべてのデータを消去してください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 記憶装置（フラッシュメモリなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。
- 修理や点検のとき、お客様が記録したオーディオデータなどが消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

gigabeatの楽しみかた

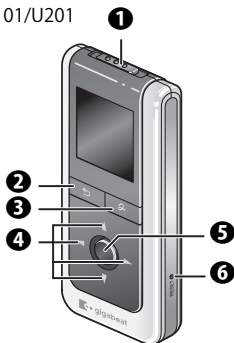
gigabeat は携帯式のデジタル音楽プレーヤーです。
パソコンから Windows Media® Player11、10 または 9 シリーズを使って直接gigabeatに音楽を転送し、gigabeatで音楽再生を楽しめます。

- 写真も転送し、gigabeatで楽しめます。
- FMラジオも楽しめます。
- CD／MDプレーヤーの音楽を直接録音でき、gigabeatで楽しめます。
- FM トランスミッター内蔵なので、FM ラジオにgigabeatの音声を飛ばして楽しめます。

以下の条件を満たすパソコン動作環境が必要です。

パソコン動作環境（*1）

適応パソコン	IBM PC/AT互換機
OS	Microsoft® Windows Vista™ Microsoft® Windows® XP Home Edition / XP Professional / XP Media Center Edition Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® Millennium Edition （いずれも標準インストール、日本語版のみ） （Windows® XP：Service Pack 2推奨）
CPU	Windows Vista™：800MHz以上（1.5GHz以上推奨） Windows® XP：300MHz以上（1.5GHz以上推奨）
メモリ	Windows Vista™：512MB以上（1GB以上推奨） Windows® XP：128MB以上（512MB以上推奨）
ハードディスク容量	200MB 以上
接続インターフェース	USB ポート（USB 2.0 / USB 1.1）（*2）
CD-ROM ドライブ	ソフトウェアインストールに必要
ソフトウェア	Windows Media® Player 11 Windows Media® Player 10 Windows Media® Player 9シリーズ

（*1）全てのパソコンの動作を保証するものではありません。
（*2）USB 2.0で動作するには、USB 2.0インターフェースを標準搭載または増設しているパソコンが必要です。USB1.1インターフェースと接続するとUSB 1.1として動作します。

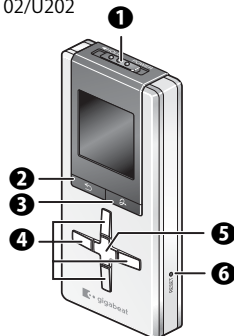
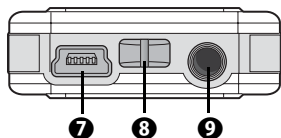
各部のなまえとはたらき

❶ **POWER/HOLDスイッチ**
［POWER］の方向にスライドさせて放すと電源がはいります。（➔39ページ）
［HOLD］の方向にスライドさせておくと、本体の操作を受け付けなくなり、意図しない操作を防ぐことができます。

❷ **バックボタン**
前の画面に戻ります。
1秒以上長押しした場合はトップメニュー画面に戻ります。

❸ **クイックボタン**
クイックメニューを表示します。（➔64ページ）
トップメニュー画面や再生画面で、1秒以上長押しした場合は、「FMトランスミッター」のオン／オフを切り換えます。

❹ **上／下／左／右ボタン** （➔28ページ）
上／下／左／右を押し、カーソルを上下左右に動かします。

❺ **エンターボタン** （➔28ページ）
カーソルで選択した機能を実行します。

❻ **リセットスイッチ** （➔154ページ）

❼ USBコネクター
ユニバーサル・シリアル・バス（USB）2.0ポートを備えています。

❽ ストラップホルダー

❾ ヘッドホンジャック／RECジャック
他のオーディオ機器からの音楽を録音するときは、その音声出力を接続します。

- 本書の本体のイラストはイメージ図です。実際の形状とは多少異なる場合があります。

上／下／左／右ボタンとエンターボタンの機能

■ 上／下

- 現在聴いている曲の音量を調節します。
- 実行したい機能をメニューから選びます。

■ 左／右

- 前／次の曲を選びます。
- 聴きたいFMラジオの周波数を選びます。
- 右：選択した機能を実行します。

■ エンターボタン

- 曲を再生／停止します。
- 選択した機能を実行します。

お知らせ

- 本書の、上／下／左／右ボタンとエンターボタンのイラストは、押す部分の位置を示したイメージ図です。実際のボタン形状とは異なります。

Windows Media® Playerをインストールする

■Windows Vista / Windows XP Home Edition / Windows XP Professional / Windows XP Media Center Editionのパソコンの場合

Windows Media Player 11をお使いください。Windows Media Player 11がインストールされていなければ、マイクロソフト社のホームページ（http://www.microsoft.com/japan）からダウンロードしてください。
マイクロソフト社のホームページから、ダウンロードセンターのホームページか、Windows Mediaのホームページに移り、ダウンロードしてください。

Windows Media Player 10を使う場合は、以下の手順で必要なパッチ（修正プログラム）をインストールしてください。

1 バージョンが 10.00.00.3802 以前の Windows Media Player 10 をお使いの場合は、パソコンの「Windows Update」を使って、最新のWindows Media Player 10にバージョンアップしてください。

2 マイクロソフト社の URL（http://support.microsoft.com/kb/902344/ja）から、修正プログラム「WindowsMedia10-KB902344-x86-INTL.exe」をダウンロードし、それを実行してインストールしてください。

3 マイクロソフト社の URL（http://support.microsoft.com/kb/895316/ja）から、修正プログラム「WindowsMedia10-KB895316-x86-JPN.exe」をダウンロードし、それを実行してインストールしてください。

■Windows Millennium Edition / Windows 2000 Professionalのパソコンの場合

Windows Media Player 9シリーズをお使いください。お使いのパソコンにインストールされていなければ、マイクロソフト社のホームページ（前述）からダウンロードしてください。

- Windows Media Player 9シリーズでは、Windows Media DRM10（➔147ページ）で保護されたデータやアルバムアート（ジャケット写真）の転送には対応していません。

内蔵電池を充電する／パソコンと接続する

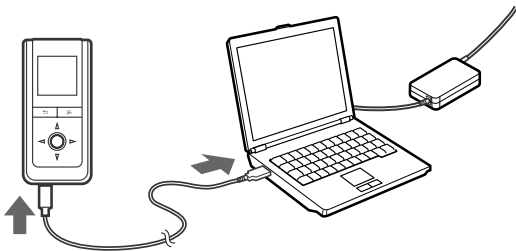
パソコンとUSB接続してgigabeatを充電します。

パソコンにインストールされているWindows Media Playerのバージョンによって、接続方式が変わります。（「MTP」（➔147ページ）接続と「USBマスストレージクラス」（➔147ページ）接続の2種類があります。）

パソコンにWindows Media Player 11または10がインストールされている場合は、MTPで接続されます。インストールされていなければ、USBマスストレージクラスで接続されます。詳しくは「本機の動作対応表」（➔33ページ）をご覧ください。

1 gigabeatを付属のUSBケーブルでパソコンと接続する

パソコンの電源を入れてください。（パソコンのACアダプターは接続した状態にしてください。）

gigabeatの電源はオンオフ関係なく接続できます。

接続すると電源がオフの場合も、電源がオンし、gigabeatの表示画面に「USB接続中」の表示と共に、赤色の充電アイコンが表示されます。
「USB接続中」のときは、gigabeatの操作はできません。
充電が完了すると、緑色の充電アイコンに変わります。
充電中 充電中… → 充電完了 充電完了
（ このアイコンが表示されているときは充電していません。）
約2時間でフル充電になります。

（Windows Vista / Windows XP Home Edition / Windows XP Professional / Windows XP Media Center Editionの場合）

自動的にMTPで接続されます。

- 初めてMTP接続したときは、パソコンにgigabeatが接続されたときに実行する動作を選ぶ画面（➔45ページ、49ページ）が表示されますが、すぐに音楽の転送をしない場合には「キャンセル」をクリックしてください。
- パソコンにWindows Media Player 11または10がインストールされていなければ、USBマスストレージクラスで接続されます。

（Windows 2000 Professional / Windows Millennium Editionの場合）

自動的にUSBマスストレージクラスで接続されます。

- USBマスストレージクラスで接続した場合は、Windows Media DRM10に対応しません。また、アルバムアート（ジャケット写真）の表示も対応しません。

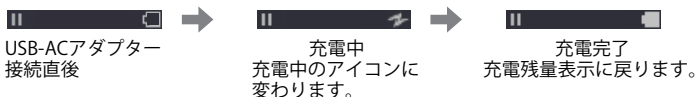
本機の動作対応表

使用Windows Media Player ＼ 使用OS	Windows Media Player11	Windows Media Player10	Windows Media Player9シリーズ
Windows Vista	○ MTP接続	－ (*1)	－ (*1)
Windows XP（Service Pack非適用）(*5)	× (*2)	○ MSC接続（*4）(*6)	○ MSC接続（*4）
Windows XP（Service Pack 1適用）(*5)	× (*2)	○ MTP接続（*3）	○ MSC接続（*4）
Windows XP (Service Pack 2以降適用)	○ MTP接続	○ MTP接続（*3）	○ MSC接続（*4）
Windows 2000 Professional	× (*2)	× (*2)	○ MSC接続（*4）
Windows Millennium Edition	× (*2)	× (*2)	○ MSC接続（*4）

「MSC接続」とは、「USBマスストレージクラス接続」のことをいいます。

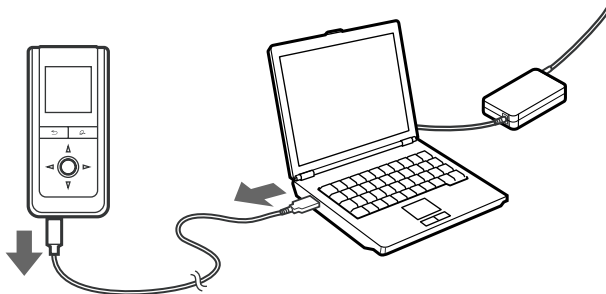
*1： 本機の動作は未対応です。(保障いたしません。)
*2： Windows Media Playerがインストールできません。
*3： パッチ（修正プログラム）をインストールしてください。(➔29ページ)
*4： Windows Media DRM10で保護されたデータやアルバムアート（ジャケット写真）の転送には対応していません。
*5： Service Pack2の適用を推奨します。マイクロソフト社のホームページ（前述）からダウンロードしてください。
*6： 本取扱説明書では、Windows XPはService Pack2適用、Windows Media Player 10ではMTP接続になることを前提に説明しています。

お知らせ

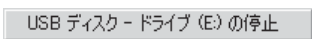
- USB接続の充電は、パソコン本体のUSBバス電源供給機能の性能によるため、パソコンの機種によっては充電できない場合があります。充電できないパソコンとUSB接続したときには、接続がすぐ切れ、パソコン本体のUSB機能が一時的に使えなくなる場合があります。その際はgigabeatをはずし、パソコンを再起動してください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲温度などによって変わります。
- 内蔵電池の充電は、使用条件の温度範囲内（5 ℃～35 ℃）で行ってください。範囲をはずれていると充電できないことがあります。
- 内蔵電池の残量が少なくなるにつれて、gigabeat の画面上の電池残量の表示が下図のように変わります。電池の残量が少なくなってきたら、充電してください。
- gigabeat は、保存されているデータ数が多いと、パソコンと接続に時間がかかる場合があります。
- USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。
- 別売のUSB ACアダプター（形名MEPUAA10）を使って充電することができます。
- 市販の汎用USB-ACアダプターを使用して充電される場合には、供給電圧が5Vのもので、必ずPSEマークの付いている製品をお使いください。ただし動作は保証できないことをあらかじめご承知願います。
  USB-ACアダプターを使用して充電される場合、gigabeatの画面上の電池残量の表示が下図のように変わります。

パソコンからgigabeatを取りはずす

MTP接続の場合（Windows Media Player 11または10がインストールされている場合）

パソコンからUSBケーブルを抜く

データの転送中でなければ、そのまま抜いて構いません。

お願い

- gigabeatとパソコンの接続中、gigabeatの表示画面に「USB転送中」が表示されているときは、gigabeatをパソコンから取りはずさないでください。「USB接続中」が表示されているときに抜いてください。「USB転送中」が表示されているときに取りはずすと、正常に起動しない場合があります。
その場合は、再度gigabeatをパソコンに接続し、gigabeatの表示画面に「USB接続中」が表示されているときに、取りはずしてください。

このときは抜かないでください。

「USB接続中」の表示のとき抜いてください。

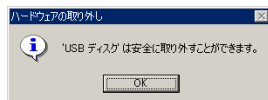
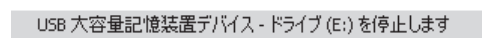
- gigabeatをパソコンから取りはずしても、gigabeatの表示画面が「USB接続中」のままになることがあります。その場合は、gigabeat本体側面のリセットスイッチを押して、gigabeatをリセットしてください。（➔154ページ）

USBマスストレージクラス接続の場合（Windows Media Player 11または10がインストールされていない場合）

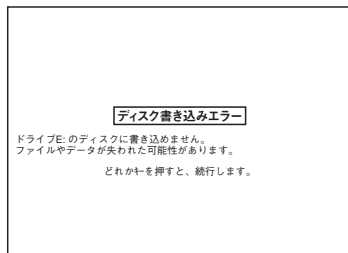
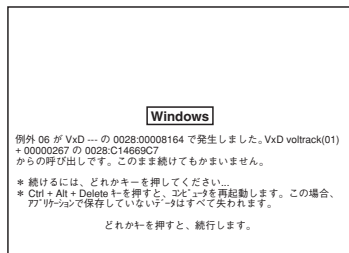
■Windows Millennium Editionの場合

1 **タスクバーの 「ハードウェアの取り外し」をクリックする**

2 USB ディスク - ドライブ (E:) の停止 **をクリックする**

3 **右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く**

お知らせ

- データ転送直後にUSBケーブルを抜くと、パソコンが下図のような画面（青い画面）になる場合があります。その場合は、任意のキーを押してください。任意のキーを押すことでパソコンは復帰し、そのまま継続してご利用できます。

■Windows 2000 Professionalの場合

1 **タスクバーの 「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする**

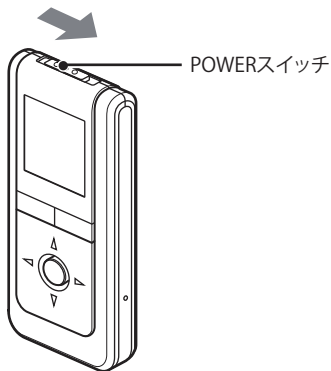
2 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します **をクリックする**

3 **右のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてgigabeatからUSBケーブルを抜く**

※ 手順 **2** の画面はドライブ (E) を取りはずす例になっていますが、お使いのパソコンの環境によって、ドライブは変わります。

電源を入れる／切る

1 **電源を入れるにはPOWERスイッチを［POWER］の方向にスライドさせて放す**

電源を切るにはPOWERスイッチを［POWER］の方向にスライドさせて1秒以上してから放す

お知らせ

- gigabeatに保存されているデータ数が多いと、起動に時間がかかる場合があります。

音楽CDの曲をパソコンに取り込む

Windows Media Playerを使って、音楽CDの曲をパソコンに取り込むことができます。パソコンに取り込んだ曲は、gigabeatに転送できます。（➔45ページ）

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

2 Windows Media Player 11、10または9シリーズを起動する

手順3以降は、各ページをご覧ください。

Windows Media Player 11の場合（➔41ページ）

Windows Media Player 10の場合（➔42ページ）

Windows Media Player 9シリーズの場合（➔43ページ）

（Windows Media Player 11の場合）

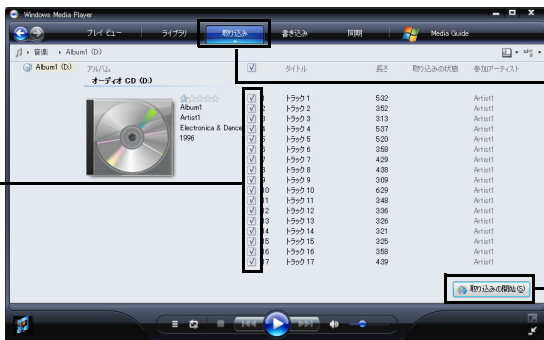
3 上部の「取り込み」タブをクリックする

CD内の曲の一覧が表示されます。

4 取り込まない曲のチェックボックスをオフにする

最初はすべての曲のチェックボックスがオンになっています。
リストの一番上にあるチェックボックスをオン／オフにすると、すべての曲のチェックボックスがオン／オフします。

5 「取り込みの開始」ボタンをクリックする

選択した曲の取り込みが始まります。

ここにチェックの付いた曲が取り込まれる

(Windows Media Player 10の場合)

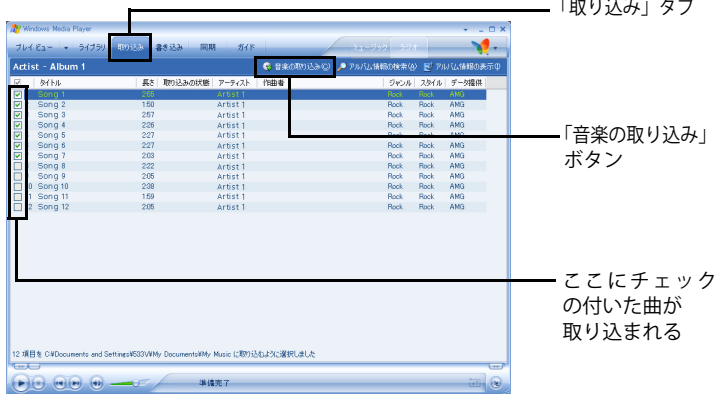
3 上部の「取り込み」タブをクリックする

CD内の曲の一覧が表示されます。

4 取り込まない曲のチェックボックスをオフにする

最初はすべての曲のチェックボックスがオンになっています。
リストの一番上にあるチェックボックスをオン／オフにすると、すべての曲のチェックボックスがオン／オフします。

5 「音楽の取り込み」ボタンをクリックする

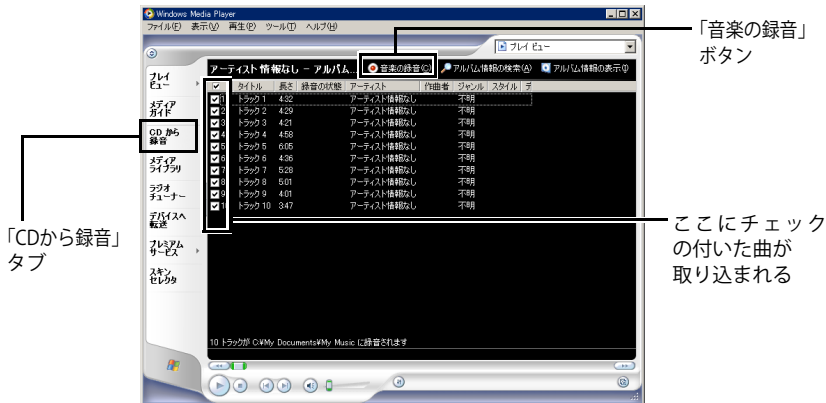
選択した曲の取り込みが始まります。

3 上部の「CDから録音」タブをクリックする

CD内の曲の一覧が表示されます。

4 取り込まない曲のチェックボックスをオフにする

最初はすべての曲のチェックボックスがオンになっています。
リストの一番上にあるチェックボックスをオン／オフにすると、すべての曲のチェックボックスがオン／オフします。

5 「音楽の録音」ボタンをクリックする

選択した曲の取り込みが始まります。

お知らせ

- 選択した曲は、パソコンの「マイミュージック」フォルダに取り込まれ、Windows Media Playerの「ライブラリ」で表示できます。
- Windows Media Player 11の場合、「取り込み」タブの下の▼をクリックして、「その他のオプション」－「音楽の取り込み」で、取り込み場所、形式、音質などが変えられます。
- Windows Media Player 10の場合、「ツール」－「オプション」－「音楽の取り込み」で、取り込み場所、形式、音質などが変えられます。
- Windows Media Player 9シリーズの場合、「ツール」－「オプション」－「音楽の録音」で、取り込み場所、形式、音質などが変えられます。
- パソコンをインターネットに接続している場合、音楽CDの情報がマイクロソフトのサーバーにあれば、自動的にアルバム名や曲名が付きます。
- 詳しくは、ご使用のWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

パソコン上の音楽データをgigabeatに転送する

Windows Media Playerを使って、パソコン内に入れたMP3、WMA（Windows Media Audio)、WAV (Wave)の音楽データをgigabeatに転送できます。

Windows Media Player 11を使用した場合（MTP接続）

1 Windows Media Player 11がインストールされたパソコンとgigabeatをUSBケーブルを使って接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。
本機以外のMTP接続デバイスを同時に接続しないでください。本機を認識できない場合があります。

2 「デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用」を選択して「OK」ボタンをクリックする

今後同じ動作を自動的に実行したいときは、「常に選択した動作を実行する」のチェックボックスにチェックを入れます。

Windows Media Player 11が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。

3 「次へ」をクリックする

Windows Media Player 11のライブラリに追加するファイルをパソコンの中から検索します。

4 検索が終了したら、「次へ」をクリックする

「デバイスを指定してください」の画面が表示されます。

5 「キャンセル」をクリックする

ここで「完了」をクリックすると、同期を自動にする設定ができますが、本書では、手動で同期（転送）する方法を説明します。

あとで、Windows Media Player 11の「同期」タブの下の▼をクリックし、「TOSHIBA gigabeat U」の「同期の設定」をクリックして同期を自動にする設定ができます。

6 Windows Media Player 11の「同期」タブをクリックし、転送（同期）したいデータを選ぶ

「カテゴリの選択」ボタンをクリックし、「音楽」を選んでおきます。

「カテゴリの選択」ボタン

「同期」タブ

7 選んだデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから「“同期リスト”に追加」を選ぶ

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

右側の同期リストのエリアにドラッグ＆ドロップしても、同期リストに追加できます。

8 右下の「同期の開始」ボタンをクリックする

同期が開始されます。

同期中は「同期の開始」ボタンが「同期の中止」ボタンに変わり、同期が終わると「同期の開始」ボタンに戻ります。

「同期の開始」／「同期の中止」ボタン

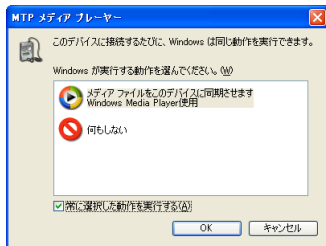
お知らせ

- 詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。
- パソコンからデータの転送をしているときは、USB ケーブルを抜かないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- 画面に出てくるサイズの数値は1MBを1,048,576バイトで計算した値です。
- 画面右にはgigabeatのユーザ容量、空き容量が示されます。
- gigabeatのメモリーがいっぱいになった時点、またはフォトも合わせて1000ファイルになった時点で転送ができなくなります。

1 Windows Media Player10がインストールされたパソコンとgigabeatをUSBケーブルを使って接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。
本機以外のMTP接続デバイスを同時に接続しないでください。本機を認識できない場合があります。

2 「メディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用」を選択して「OK」ボタンをクリックする

今後同じ動作を自動的に実行したいときは、「常に選択した動作を実行する」のチェックボックスにチェックを入れます。
Windows Media Player10が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。

3 「手動」を選んで、「完了」をクリックする

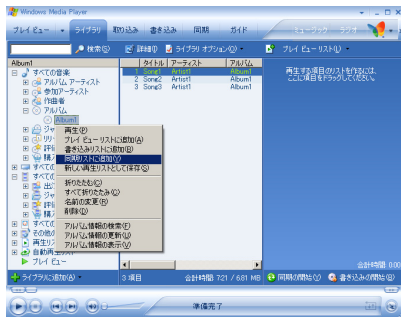
本書では、手動で同期（転送）する方法を説明します。あとで、Windows Media Player 10の「同期」タブー「同期の設定」ボタンで、同期を自動にする設定ができます。

4 Windows Media Player10の「ライブラリ」タブで、転送（同期）したいデータを選ぶ

左のツリー表示の「すべての音楽」から選びます。

5 右クリックして表示されるショートカットメニューから「同期リストに追加」を選ぶ

画面中央のリストから転送するデータを右クリックして、「追加」→「同期リスト」と選ぶこともできます。

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

6 右下の「同期の開始」ボタンをクリックする。または上部の「同期」タブをクリックし、「同期の開始」ボタンをクリックする

同期中は「同期の開始」ボタンが「同期の中止」ボタンに変わり、同期が終わると「同期の開始」ボタンに戻ります。

同期タブの画面で、「同期リスト」をクリックして転送（同期）したい曲を選ぶこともできます。

「同期の開始」／「同期の中止」ボタン

お知らせ

- 詳しくは、Windows Media Player10のヘルプをご覧ください。
- パソコンからデータの転送をしているときは、USB ケーブルを抜かないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- 画面に出てくるサイズの数値は1MBを1,048,576バイトで計算した値です。
- 画面右にはgigabeatのユーザ容量、空き容量が示されます。
- gigabeatのメモリーがいっぱいになった時点、またはフォトも合わせて1000ファイルになった時点で転送ができなくなります。（➔61ページ）

Windows Media Player 9シリーズの場合（USBマスストレージクラス接続）

1 パソコンとgigabeatをUSBケーブルを使って接続する

2 Windows Media Player 9シリーズを起動する

3 「デバイスへ転送」タブをクリックする

4 転送したい音楽データを選ぶ

ドロップダウンリストで転送する項目を選び、下のウィンドウで転送しない曲のチェックボックスをオフにします。

5 転送先のデバイスとしてgigabeatのドライブを選ぶ

6 「転送」ボタンをクリックする

お知らせ

- 詳しくは、Windows Media Player 9シリーズのヘルプをご覧ください。
- パソコンからデータの転送をしているときは、USB ケーブルを抜かないでください。gigabeatに記録されているデータが破壊されることがあります。
- 画面に出てくるサイズの数値は1MBを1,048,576バイトで計算した値です。
- 画面右下にはgigabeatの使用領域、ユーザ容量、空き容量が示されます。
- gigabeat のメモリーがいっぱいにならなければ gigabeat に上限なく転送できます。ただし、gigabeatで再生または表示できるファイルは楽曲とフォトを合わせて1000までです。（➔61ページ）

アルバムアート（ジャケット写真）を転送するには

アルバムアート（ジャケット写真）を転送するには、Windows Media Player 11または10でアルバムアート付きのアルバム情報を取り込んでおく必要があります。

アルバムアート付きのアルバム情報を取り込んだあと音楽データを転送すれば、アルバムアートも転送されます。

転送されたアルバムアートは、gigabeatの再生画面で表示できます。（➔81ページ）

Windows Media Player 9シリーズでは、アルバムアートをgigabeatに転送できません。

アルバム情報の取り込みかた

1 「ライブラリ」タブで、アルバムを右クリックして、「アルバム情報の検索」をクリックする

2 取り込みたいアルバム情報を検索する

3 「完了」をクリックする

アルバムアート（ジャケット写真）に好きな画像を登録する

アルバム情報の検索でアルバムアートが取得できなくても、好きな画像をアルバムアートに登録することができます。ただし、サイズの大きな画像を登録すると、gigabeatで表示するときに時間がかかります。

Windows Media Player 11の場合

1 パソコン上でアルバムアートとして登録したいJPEGファイルを右クリックし、「コピー」を選ぶ

2 Windows Media Player 11のライブラリで、登録したいアルバムを右クリックし「アルバムアートの貼り付け」を選ぶ

アルバムアートが登録されます。

3 アルバムアートを登録した音楽データをgigabeatに転送（同期）する

Windows Media Player 10の場合

1 アルバムアートとして登録したいJPEGファイルのファイル名を「Folder.jpg」に変更し、登録したいアルバムの音楽データがあるフォルダに入れる

2 Windows Media Player 10を起動する

3 アルバムアートを登録した音楽データをgigabeatに転送（同期）する

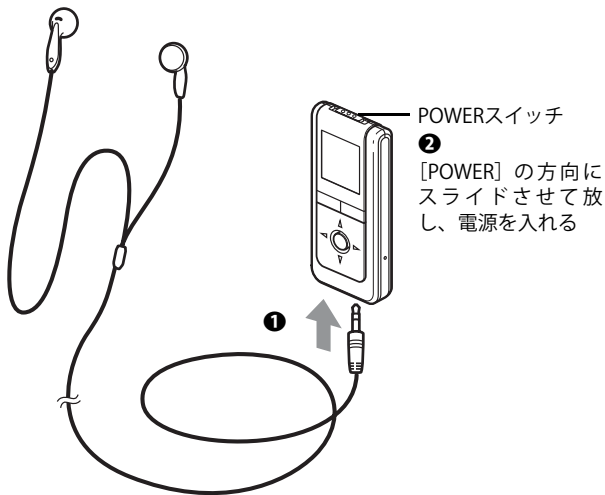
お知らせ

- Windows Media Player 10では、メモリーサイズの大きな画像を登録するとgigabeatに転送されない場合があります。

音楽を選んで聴く

gigabeatに転送した音楽データの曲情報によって、「アーティスト」と「アルバム」のそれぞれから目的の音楽データ（曲）を選ぶことができます。

例：「アーティスト」から曲を選ぶ場合

1 先にヘッドホンをヘッドホンジャックに接続してから、電源を入れる

2 トップメニュー画面を表示させる

再生画面表示中の場合は、バックボタンを押します。

再生画面以外から、トップメニュー画面を表示させるには、バックボタンを1秒以上長押しします。

3 上または下ボタンで「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ライブラリのメニュー画面が表示されます。

4 上または下ボタンで「アーティスト」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

アーティストの一覧画面が表示されます。

ここで「アーティスト」でなく「すべて再生」を選ぶと、gigabeatに転送されたすべての曲をアーティスト名順のアルバム名順で、トラック順に再生します。（再生モード（→70ページ）が「通常再生」または「全曲リピート」の場合）

5

上または下ボタンで再生したいアーティストを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

選んだアーティストのアルバムの一覧画面が表示されます。

6

上または下ボタンで再生したいアルバムを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

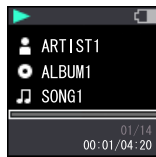
選んだアルバム内の曲の一覧画面が表示されます。ここでアルバムでなく「すべて再生」を選ぶと、選んだアーティストのすべての曲をアルバム名順のトラック順に再生します。

7

上または下ボタンで再生したい曲を選ぶ

ここで曲でなく「すべて再生」を選ぶと、選んだアルバムのすべての曲をトラック順に再生します。

右ボタンまたはエンターボタンを押す

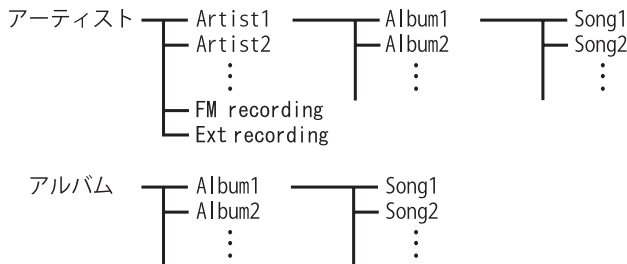
選んだ曲を再生します。

お願い

- 本体の電源が切れている状態で、ヘッドホンを抜き差ししてください。
- プラグは奥まで確実に差し込んでください。完全に差し込まれていないと、正しく動作しないことがあります。

お知らせ

- 「アルバム」からも同様に曲を選んで再生できます。
- Windows Media DRM10で著作権保護されたWMAデータは「ライセンスが切れています　PCと同期してください」や「ライセンスを取得できないため音楽再生ができません」と表示されて再生できない場合があります。
  再生可能な有効期限が過ぎているので再生できない場合は、そのWMAデータを購読（Subscription）しているパソコンで契約を更新し、gigabeatをそのパソコンと接続して同期を取る必要があります。
  また、しばらくの間パソコンと接続しなかったり、本体をリセットしたときなどにも表示される場合があります。この場合は、パソコンとUSB接続してWindows Media Player 11または10と同期してください。

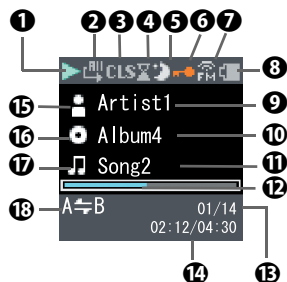
アーティストとアルバムについて

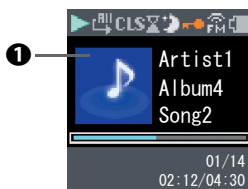
転送した曲の「アーティスト」、「アルバム」、「タイトル」の情報によって、gigabeat内では次のような構成になり、「アーティスト」または「アルバム」から聴きたい曲を選べます。

アーティスト名がないアーティストやアルバム名がないアルバムの場合は、「#Unknown」という名前になり、アーティストやアルバムの最上部に表示されます。

お知らせ

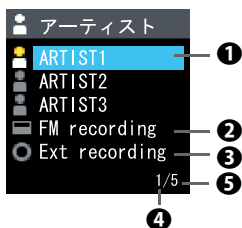
- アーティスト名やアルバム名がない場合は、転送する前にWindows Media Playerで、アーティスト名、アルバム名を入れておくと検索に便利です。
- 曲の最大数は、gigabeatのメモリーがいっぱいになるまでか、転送した曲、FMラジオやダイレクト録音で録音した曲、分割した曲、転送したフォトを含めて1000までです。
- gigabeatで表示できるアーティスト名、アルバム名、曲名、プレイリスト名の文字数は、80文字までです。

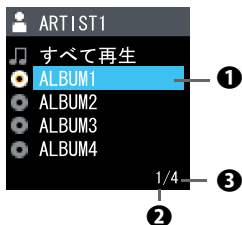
表示画面について

● 再生画面

❶ 再生状態
❷ 再生モード
❸ イコライザ
❹ カウントダウンタイマー
❺ スリープタイマー
❻ HOLD状態
❼ FMトランスミッター
❽ 電池残量
❾ アーティスト名
❿ アルバム名
⓫ 現在の曲名
⓬ 経過時間バー
⓭ 曲の順番／再生対象の曲数
⓮ 経過時間／再生時間
⓯ アーティストアイコン
⓰ アルバムアイコン
⓱ 曲アイコン
⓲ A-Bリピート

（ジャケット写真（アルバムアート）表示時）

❶ ジャケット写真（アルバムアート）

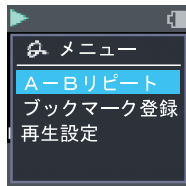
● トップメニュー画面

● アーティスト一覧画面

❶ アーティスト名
❷ FMラジオを録音したもの
❸ ダイレクト録音で録音したもの
❹ アーティストの順番
❺ 全アーティスト数

● アルバム一覧画面

❶ 対象アーティストのアルバム名
❷ アルバムの順番
❸ 対象アーティストのアルバム数

● 曲一覧画面

❶ 対象アルバムの曲名
❷ 曲の順番
❸ 対象アルバムの曲数

● クイックメニュー

再生画面や楽曲を選択した画面などでクイックボタンを押すとクイックメニューが表示されます。5秒間何も操作しないとクイックメニューは消えます。

再生中にできること

音量を調整する

再生画面表示中に上または下ボタンを押す

音量調整バーが表示され、約2秒後に自動的に消えます。

バックボタン、左ボタン、右ボタン、エンターボタンを押しても消えます。

再生を一時停止する

再生中で再生画面表示中にエンターボタンを押す

もう一度エンターボタンを押すと、続きを再生します。

再生中の曲の頭出し／前後の曲にスキップする

再生画面表示中に左または右ボタンを押す

- 左ボタンを押すと、再生中の曲の先頭にスキップします。
- 曲の先頭から 2 秒以内の場合に左ボタンを押すと、ひとつ前の曲にスキップします。
- 右ボタンを押すと、次の曲にスキップします。

A-Bリピートの場合（➔72ページ）、左または右ボタンを押すとA点の先頭にスキップします。

曲の早戻し／早送りする

再生画面表示中に左または右ボタンを押し続ける

- 左ボタンを押し続けると、早戻しになります。
- 右ボタンを押し続けると、早送りになります。

ボタンを離すと、離した位置から再生します。

押し続けて、曲の先頭／終了まで達すると、曲の先頭／次曲の先頭からの再生に変わります。

A-Bリピートの場合（➔72ページ）、左ボタンを押し続けてA点に達するとA点からの再生に変わります。

トップメニュー画面を表示させる

再生画面表示中にバックボタンを押す

再生画面以外で、トップメニュー画面を表示させるには、バックボタンを1秒以上長押しします。（ただし、A-Bリピートの設定の画面、クイックメニュー、削除の確認画面などのときは、トップメニュー画面に移りません。）

お知らせ

- トップメニュー画面や再生画面で、クイックボタンを１秒以上長押しすると、「FMトランスミッター」のオン／オフが切り換わります。（➔126ページ）

プレイリストを聴く

Windows Media Player 11または10でgigabeatに転送した再生リスト（プレイリスト）を再生できます。

Windows Media Player 9シリーズでは、再生リストをgigabeatに転送できません。

Windows Media Player 10 で登録した再生リストをgigabeatに転送するには69ページをご覧ください。

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで「プレイリスト」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで再生したいプレイリストを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで再生したい曲を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ここで曲名でなく、「すべて再生」を選ぶと、選んだプレイリストのすべての曲をWindows Media Playerで登録した順に再生します。

Windows Media Player 10 で登録した再生リストをgigabeatに転送するには

Windows Media Player 10で再生リストを転送（同期）するには、同期を「自動」にする必要があります。Windows Media Player 11の場合は、自動にしなくても、ライブラリで、転送したい再生リストを右クリックし、「“同期リスト”に追加」を選んで転送できます。

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 10の画面で、「同期」ボタンをクリックし、「同期の設定」ボタンをクリックする

デバイス設定画面が表示されます。

3 「自動」を選び、「同期させる再生リストを指定する」のチェックボックスにチェックを入れて「次へ」をクリックする

4 同期させたい再生リストのチェックボックスにチェックを入れて「完了」をクリックする

自動的に同期が行われ、チェックを入れた再生リストのデータが転送されます。
詳しくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

お知らせ

- 手順2で、同期の設定画面が表示された場合は、「デバイスへの同期を自動的に行う」のチェックボックスにチェックを入れ、同期させたい再生リストのチェックボックスにチェックを入れて「完了」をクリックしてください。

繰り返し聴く／順番を変えて聴く

リピート再生やシャッフル再生など、お好みに合わせて選べます。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

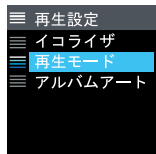
2

上または下ボタンで「再生設定」を選ぶ

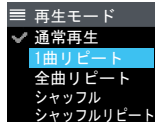
右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで「再生モード」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで好みのモードを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

モードが設定され、手順3の画面に戻ります。

再生画面での表示	再生モード	動作内容
なし	通常再生	通常の再生モードです。選んだアーティストやアルバムなどの曲を1回再生します。
	1曲リピート	ひとつの曲を繰り返し再生します。
	全曲リピート	選んだアーティストやアルバムなどの曲を繰り返し再生します。
	シャッフル	選んだアーティストやアルバムなどの曲を、順番を変えて1回再生します。
	シャッフルリピート	シャッフル再生を繰り返します。

A-Bリピートを使って聴く

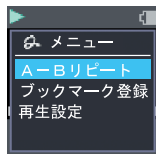
A点とB点を設定して、AB間を繰り返し再生できます。

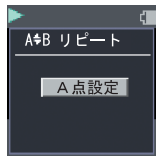
1 **再生中に、クイックボタンを押す**

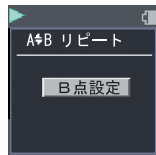
クイックメニューが表示されます

2 **上または下ボタンで「A-Bリピート」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

A点の設定画面が表示されます。

3 **A点（開始位置）にしたいところでエンターボタンを押す**

A点が設定され、B点の設定画面が表示されます。

4 **B点（終了位置）にしたいところでエンターボタンを押す**

B点が設定され、B点の設定画面が消え、A-Bリピートが始まります。

お知らせ

- 一時停止中に、「A-Bリピート」を選んで決定すると、現在の位置がA点になり、再生状態になります。続けて手順4のようにB点を設定してください。
- A点とB点の位置は、同じ曲内に限ります。
- A点またはB点の位置を設定するときに、左または右ボタンを押し続けて早戻し／早送りできます。ただし、B点の設定時、左ボタンを押したときや左ボタンを押し続けてA点に達したときはA点からの再生になります。また、右ボタンを押したときや右ボタンを押し続けて曲の終わりまで達したときは曲の終わりで一時停止します。
- A-Bリピートの再生中、右ボタンまたは左ボタンを押すとA点の先頭から再生します。

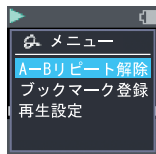
A-Bリピートを解除する

1 **再生画面で、クイックボタンを押す**

クイックメニューが表示されます

2 **上または下ボタンで「A-Bリピート解除」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

A-Bリピートが解除されます。

お知らせ

- 他の曲を再生、または他の機能に移行、電源オフ、カウントダウンタイマーのタイムアウトなどにより再生が停止したときは、A-Bリピートは解除されます。

好みの音質にする（イコライザの変更）

イコライザの種類をお好みに合わせて選べます。

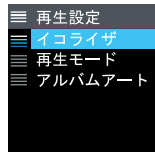
1 **トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2 **上または下ボタンで「再生設定」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3 **上または下ボタンで「イコライザ」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで「FLAT」、「ROCK」、「JAZZ」、「CLASSIC」、「POP」、「USER」の中から好みの種類を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

イコライザの種類が設定され、手順3の画面に戻ります。

「USER」を選ぶと、「USERを選んだ場合」の設定になります。（➔76ページ）

再生画面での表示	イコライザの種類
なし	FLAT
ROC	ROCK
JAZ	JAZZ

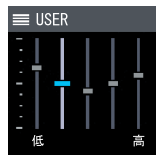
再生画面での表示	イコライザの種類
CLS	CLASSIC
POP	POP
USR	USER

USERを選んだ場合

イコライザの変更でUSERを選ぶと、音域ごとに出力レベルをお好みに変更することができます。

1

左または右ボタンで音域を選び、

上または下ボタンで音域のレベルを調節する

2

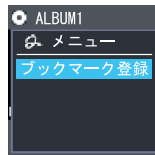
エンターボタンを押して設定を確定する

お気に入りにする（ブックマーク）

お気に入りの曲をブックマークに登録すると、登録した曲だけの再生ができます。
5つのブックマークに各30曲まで登録できます。

1 **曲の一覧画面で、上または下ボタンを押してブックマークに登録したい曲を選ぶ**

2 **クイックボタンを押す**

クイックメニューが表示されます。

3 **上または下ボタンで「ブックマーク登録」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

4

上または下ボタンで登録したいブックマークを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

選んだ曲が選んだお気に入り番号のブックマークに登録されます。

お知らせ

- 再生画面からもクイックメニューで、「ブックマーク登録」を選べます。
- ブックマークに登録した曲は、ライブラリのメニュー画面で「ブックマーク」を選んで再生できます。

お気に入りを解除する

ブックマークに登録した曲をブックマークから解除します。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2 上または下ボタンで「ブックマーク」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

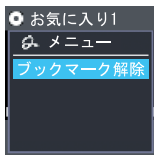
ブックマークの一覧画面が表示されます。

3 上または下ボタンで解除したいブックマークを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

4 上または下ボタンでブックマークから解除したい曲を選ぶ

5 クイックボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

6

右ボタンまたはエンターボタンを押す

解除の確認の画面が表示されます。

7

上または下ボタンで「はい」を選ぶ

ブックマーク
SONG1
ブックマークから
解除しますか？
はい
いいえ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ブックマークから解除されます。

ジャケット写真を表示する

再生画面にジャケット写真（アルバムアート）を表示できます。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

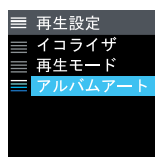
2

上または下ボタンで「再生設定」を選ぶ

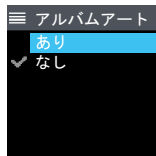
右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで「アルバムアート」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで「あり」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

再生画面にジャケット写真が表示されるようになります。(➔62ページ、「ジャケット写真(アルバムアート)表示時」)
「なし」を選ぶと再生画面にジャケット写真は表示されません。

お知らせ

- ジャケット写真(アルバムアート)が転送されていないとジャケット写真は表示されません。(➔55ページ)

音楽データを削除する

gigabeatに転送した音楽データ（音楽ファイル）は、Windows Media Playerを使用して削除できます。

Windows Media Player 11の場合

1 **パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する**

2 **Windows Media Player 11を起動する**

3 **「同期」タブをクリックし、「カテゴリの選択」ボタンをクリックして「音楽」を選ぶ**

4 **左のツリーから、「TOSHIBA gigabeat U」のライブラリをクリックする**

gigabeat内のライブラリが表示されます。

5 **削除する音楽データを右クリックして表示されるショートカットメニューから、「削除」を選ぶ**

削除の確認画面が表示されます。

6 **「はい」を選ぶ**

gigabeat から、選んだ音楽データが削除されます。

Windows Media Player 10の場合

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 10を起動する

3 「同期」タブをクリックする

4 右ウィンドウの「TOSHIBA gigabeat U」の中の「Music」から削除する音楽データを選ぶ

5 右クリックして表示されるショートカットメニューから、「デバイスから削除」を選ぶ

gigabeat から、選んだ音楽データが削除されます。

Windows Media Player 9シリーズの場合

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 9シリーズを起動する

3 「デバイスへ転送」をクリックする

4 右ウィンドウで、gigabeatのドライブ（リムーバブルディスク）を選ぶ

5 gigabeatのドライブの中から、削除する音楽データを右クリックし、表示されるショートカットメニューから「再生リストから削除」を選ぶ

gigabeat から、選んだ音楽データが削除されます。

フォトを転送して見る

gigabeatに入れたフォトを全画面表示できます。

パソコンからgigabeatにフォトを転送する

パソコンに入れてあるフォトデータ（JPEGデータ）を、gigabeatに転送できます。デジタルカメラから、直接転送することはできません。

Windows Media Player 11を使用した場合（MTP接続）

1 Windows Media Player 11がインストールされたパソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。

本機以外のMTP接続デバイスを同時に接続しないでください。本機を認識できない場合があります。

2 「デジタルメディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用」を選択して「OK」をクリックする

今後同じ動作を自動的に実行したいときは、「常に選択した動作を実行する」のチェックボックスにチェックを入れます。

Windows Media Player 11が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。

デバイス設定の「ライブラリに追加」の画面が表示された場合は、「次へ」をクリックし、検索が終了したら、「次へ」をクリックしてください。(「パソコン上の音楽データをgigabeatに転送する」の手順3、4、(➔46ページ))

3 右の画面で「キャンセル」をクリックする

ここで「完了」をクリックすると、同期を自動にする設定ができますが、本書では、手動で同期(転送)する方法を説明します。

すでに設定した場合は、本画面は表示されません。あとでWindows Media Player 11の「同期」タブの下の▼をクリックし、「TOSHIBA gigabeat U」の「同期の設定」をクリックして同期を自動にする設定ができます。

4 Windows Media Player11の「同期」タブをクリックし、「カテゴリの選択」ボタンをクリックして「画像」を選ぶ

5 転送（同期）したいデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから「“同期リスト” に追加」を選ぶ

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

右側の同期リストのエリアにドラッグ＆ドロップしても、同期リストに追加できます。

6 右下の「同期の開始」ボタンをクリックする

同期が開始されます。

同期中は「同期の開始」ボタンが「同期の中止」ボタンに変わり、同期が終わると「同期の開始」ボタンに戻ります。

「同期の開始」／「同期の中止」ボタン

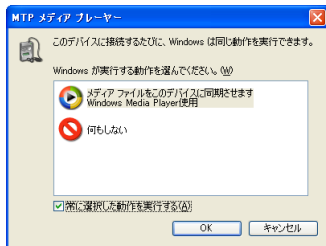
お知らせ

- 詳しくは、Windows Media Player 11のヘルプをご覧ください。
- gigabeatのメモリーがいっぱいになった時点、または音楽ファイルも合わせて1000ファイルになった時点で転送ができなくなります。（➔61ページ）

1 Windows Media Player10がインストールされたパソコンとgigabeatをUSBケーブルを使って接続する

gigabeatが接続されたときに実行する動作を選択する画面が表示されます。
本機以外のMTP接続デバイスを同時に接続しないでください。本機を認識できない場合があります。

2 「メディアファイルをこのデバイスに同期させます Windows Media Player使用」を選択して「OK」ボタンをクリックする

今後同じ動作を自動的に実行したいときは、「常に選択した動作を実行する」のチェックボックスにチェックを入れます。
Windows Media Player10が起動し、デバイスの設定の画面が表示されます。

3 「手動」を選んで、「完了」をクリックする

すでに設定した場合は、本画面は表示されません。

本書では、手動で同期（転送）する方法を説明します。あとで、Windows Media Player 10の「同期」タブー「同期の設定」ボタンで、同期を自動にする設定ができます。

4 Windows Media Player10の「ライブラリ」タブで、転送（同期）したいデータを選ぶ

左のツリー表示の「すべての画像」から選びます。

5 右クリックして表示されるショートカットメニューから「同期リストに追加」を選ぶ

画面中央のリストから転送するデータを右クリックして、「追加」→「同期リスト」と選ぶこともできます。

画面右側の同期リストに、データが追加されます。

6 右下の「同期の開始」ボタンをクリックする。または上部の「同期」タブをクリックし、「同期の開始」ボタンをクリックする

同期中は「同期の開始」ボタンが「同期の中止」ボタンに変わり、同期が終わると「同期の開始」ボタンに戻ります。

同期タブの画面で、「同期リスト」をクリックして転送（同期）したいフォトデータを選ぶこともできます。

「同期の開始」／「同期の中止」ボタン

お知らせ

- 詳しくは、Windows Media Player10のヘルプをご覧ください。
- ツリー表示で「すべての画像」を表示させるには、「ツール」→「オプション」→「プレーヤー」の「デバイス用に画像サポートを有効にする」にチェックを付けてください。
- 「すべての画像」のライブラリにフォトデータを追加するには、Windows Media Player 10を使ってコンピュータ上にあるフォトデータを検索します。
- gigabeat　のメモリーがいっぱいになった時点、または音楽ファイルも合わせて1000ファイルになった時点で転送ができなくなります。（→61ページ）

Windows 2000 Professional/Windows Millennium Editionの場合（USBマスストレージクラス接続）

Windows Media Player 9 シリーズを使って、画像データをgigabeatに転送はできません。以下の方法でgigabeatに入れてください。

1 パソコンとgigabeatを、USBケーブルで接続する

2 エクスプローラで転送したいJPEG形式のフォトデータをgigabeatのドライブ内にコピーする

フォルダごと入れることもできます。

「PlaylistFixed」フォルダには、入れないでください。

お知らせ

- gigabeat のメモリーがいっぱいにならなければ gigabeat に上限なく入れられます。ただし、gigabeatで表示できるフォトの数は、楽曲と合わせて1000までです。（➔61ページ）

フォトを表示する

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「フォト」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

フォトの画像が表示されます。

2

左または右ボタンを押す

前後の画像が表示されます。

エンターボタンを押す

スライドショーが始まります。

スライドショーを停止するには、もう一度エンターボタンを押します。右ボタン、左ボタンを押しても停止します。

バックボタンを押すと、手順1の画面に戻ります。

お知らせ

- 音楽を聴きながらフォトを表示することはできません。
- サムネイル用の画像を内部に持っている画像ファイルは、サムネイル用の画像が表示されます。
- 画像サイズの大きいフォトは、表示に時間がかかります。
- フォトで表示できる枚数は、転送したフォト、転送した曲、FMラジオやダイレクト録音で録音した曲、分割した曲を合わせて1000までです。

フォトを削除する

gigabeatに入れたフォトデータは、パソコンに接続して削除できます。

Windows Media Player 11の場合

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 11を起動する

3 「同期」タブをクリックし、「カテゴリの選択」ボタンをクリックして「画像」を選ぶ

4 左のツリーから、「TOSHIBA gigabeat U」のライブラリをクリックする

gigabeat内のライブラリが表示されます。

5 削除するフォトデータを右クリックして表示されるショートカットメニューから、「削除」を選ぶ

削除の確認画面が表示されます。

6 「はい」を選ぶ

gigabeat から、選んだフォトデータが削除されます。

Windows Media Player 10の場合

1 パソコンとgigabeat を、USBケーブルで接続する

2 Windows Media Player 10を起動する

3 「同期」タブをクリックする

4 右ウィンドウの「TOSHIBA gigabeat U」の中の「Pictures」から削除するフォトデータを選ぶ

5 右クリックして表示されるショートカットメニューから、「デバイスから削除」を選ぶ

gigabeat から、選んだフォトデータが削除されます。

Windows 2000 Professional/Windows Millennium Editionの場合（USBマスストレージクラス接続）

Windows Media Player 9 シリーズを使ってフォトデータは削除できません。以下の方法で削除してください。

1 パソコンとgigabeatを、USBケーブルで接続する

2 エクスプローラで、gigabeatのドライブ内を開く

3 削除したいフォトデータを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「削除」を選ぶ

削除の確認画面が表示されます。

4 「はい」を選ぶ

gigabeatから、選んだフォトデータが削除されます。

FMラジオを聴く

お好みのラジオ放送を聴くことができます。
ヘッドホンのケーブルがアンテナの働きをしますので、ラジオを受信するときはヘッドホンをgigabeatに接続して使用してください。

受信可能な周波数を自動的にプリセットする（オートプリセット）

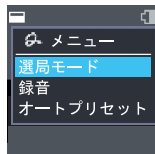
受信可能な周波数を自動的にプリセットチャンネルに登録できます。

1 トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「FMラジオ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

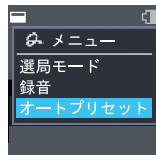
初めて使う場合は、プリセットモードの選局画面が表示されます。次回から最後に使用したモードが表示されます。

2 クイックボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

上または下ボタンで「オートプリセット」を選ぶ

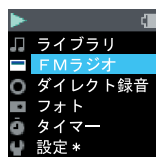
右ボタンまたはエンターボタンを押す

オートプリセットが開始され、受信可能なチャンネルを登録していきます。
周波数帯を1周するか、受信可能なチャンネルが10件見つかるとオートプリセットは終了します。

受信可能な周波数が見つからなかった場合はマニュアルモードの選局画面に変わります。手動で周波数をプリセットしてください。（➔105ページ）

お知らせ

- プリセットモードの選局画面で、左または右ボタンを長押ししてもオートプリセットが開始されます。
- オートプリセットを中断したい場合は、バックボタンを押してください。中断するまでに見つかったチャンネルは登録されます。
- 追加や修正をしたいときは、手動で周波数をプリセットし直してください。（➔105ページ）

プリセットチャンネルを選んでラジオを聴く

プリセットしたチャンネル（→99ページ、103ページ）を選んでラジオを聴くことができます。

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「FMラジオ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

プリセットモードまたはマニュアルモードの選局画面が表示されます。前回、最後に使用したモードになります。

プリセットモード

マニュアルモード

2 以下の方法でプリセットモードに切り換える

すでにプリセットモードのときは不要です。

（方法1）

エンターボタンを押す

押すたびに、マニュアルモードとプリセットモードが切り換わります。

（方法2）

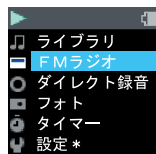
1　クイックボタンを押し、クイックメニューを表示させる

2　上または下ボタンで「選局モード」を選び、右ボタンまたはエンターボタンを押す

3　上または下ボタンで「プリセット」を選び、右ボタンまたはエンターボタンを押す

3 左または右ボタンで聴きたいプリセットチャンネルを選ぶ

4 上または下ボタンで音量を調節する

手動で周波数を合わせてラジオを聴く

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「FMラジオ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

プリセットモードまたはマニュアルモードの選局画面が表示されます。（前回、最後に使用したモードになります。）

プリセットモード

マニュアルモード

2 以下の方法でマニュアルモードに切り換える

すでにマニュアルモードのときは不要です。

（方法1）

エンターボタンを押す

押すたびに、マニュアルモードとプリセットモードが切り換わります。

（方法2）

1　クイックボタンを押し、クイックメニューを表示させる

2　上または下ボタンで「選局モード」を選び、右ボタンまたはエンターボタンを押す

3　上または下ボタンで「マニュアル」を選び、右ボタンまたはエンターボタンを押す

3 左または右ボタンで聴きたい放送局の周波数に合わせる

ボタンを長押しすると、次に受信できた周波数までスキャンします。

スキャンを中断したい場合は、バックボタンを押してください。

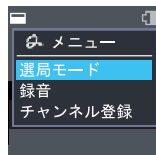
4 上または下ボタンで音量を調節する

手動で周波数をプリセットする

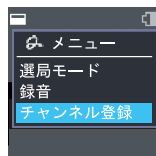
1 **マニュアルモードの選局画面で、プリセットしたい放送局の周波数に合わせる**

「手動で周波数を合わせてラジオを聴く」（➔103ページ）

2 **クイックボタンを押す**

クイックメニューが表示されます。

3 **上または下ボタンで「チャンネル登録」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

チャンネル登録の設定画面が表示されます。

左または右ボタンで登録したいプリセットチャンネルを選ぶ

エンターボタンを押す

選んだ周波数が選んだプリセットチャンネルに登録され、マニュアルモードの選局画面に戻ります。

5 手順1～4を繰り返す

お知らせ

- プリセットは10件まで登録できます。

録音する

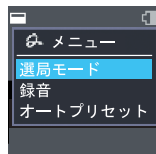
FMラジオ、他のオーディオ機器からの音楽を録音することができます。

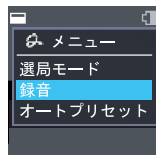
FMラジオを録音する

お好みのFMラジオの音声を録音することができます。

1 **録音したい放送局の周波数に合わせる**

2 **クイックボタンを押す**

クイックメニューが表示されます。

3 **上または下ボタンで「録音」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

エンターボタンを押す

録音が始まります。

録音を終了するには、もう一度エンターボタンを押します。

録音したファイルは、以下の名前でライブラリに登録されます。

- アーティスト名：FM recording
- アルバム名：F年月日（例：F070401）
- 曲名：FM時分（例：FM1715）

同じ時刻の場合は、後ろに [01] が付きます。（さらにあれば [02] [03] …と付いていきます。）

お知らせ

- 録音したファイルを再生するには、「録音したファイルを再生する」（→116 ページ）をご覧ください。
- 録音できる件数は、gigabeat のメモリーがいっぱいになるまでか、ダイレクト録音、転送した音楽ファイル、転送したフォトと合わせて1000ファイルまでです。
- 録音後に曲名を編集できます。（→120ページ）
- 録音中、停止を押して時計アイコンが消えるまでは、リセットスイッチを押さないでください。録音ファイルが正常に保存されない場合があります。
- ペアリング機能（→128 ページ）で受信した音楽等の録音は、著作権に抵触することがありますのでご注意ください。

他のオーディオ機器からの音楽を録音する

CD／MDプレーヤーなどのオーディオ機器の再生音楽をgigabeatに録音することができます。

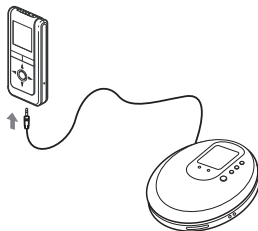
自動的に曲を分割して録音する（オートシンク）

オートシンクは、オーディオ機器からの音を検知すると録音を始め、音が検知されなくなると録音を待機し、また音を検知すると次の曲として録音を始めます。このように、アルバムを録音するとき、自動的にひとつひとつの曲のファイルに分けて録音できます。

初期設定では、「オートシンク」で録音されます。

1 CD／MDプレーヤーなどの音声出力を本体のRECジャック（ヘッドホンジャック兼用）に接続する

CD／MDプレーヤーなどのヘッドホン端子と接続してください。ライン出力端子と接続すると音割れが発生します。

（本体の REC ジャックは、アナログ入力です。）

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ダイレクト録音」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ダイレクト録音画面が表示されます。

3 録音レベルを調節する

レベルメーターの緑のエリアにメーターがふれる程度に、他のプレーヤーの出力音量を調節してください。
調整後、他のプレーヤーの再生は止めてください。

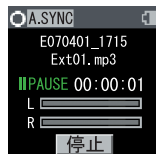
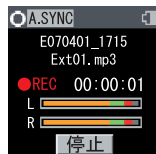
4 エンターボタンを押す

オートシンクで録音ができます。他のプレーヤーの再生を開始してください。（音が入力されると録音が開始されます。）
録音を終了するには、もう一度エンターボタンを押します。

（録音待機中：音が入力されていないとき）

録音したファイルは、以下の名前でライブラリに登録されます。

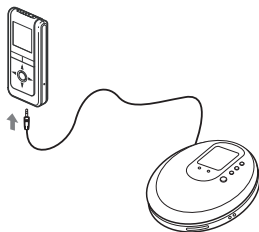
（録音中：音が入力されているとき）

- アーティスト名：　Ext recording
- アルバム名：　E年月日_時分
  （例：E070401_1715）
  同じ時刻の場合は、後ろに [01] が付きます。（さらにあれば [02] [03] …と付いていきます。）録音開始から停止するまでに作成されるファイルを同一のアルバムとして登録します。
- 曲名：　ExtXX（XX：01～99）
  分割した場合は、100 以降も作られます。（→119 ページ）ひとつのアルバムは255ファイルまでです。

お知らせ

- 録音したファイルを再生するには、「録音したファイルを再生する」（➔116 ページ）をご覧ください。
- 録音できる件数は、gigabeatのメモリーがいっぱいになるまでか、FMラジオの録音、転送した音楽ファイル、転送したフォトと合わせて1000ファイルまでです。
- 曲がつながっている場合は、自動的に曲を分けられません。録音後に曲を分割できます。（➔118ページ）
- 録音後に曲名を編集できます。（➔120ページ）
- 1回のオートシンクで自動分割できる数は99曲までです。
- 録音中にバックボタンを押した場合も録音は終了します。
- 録音中、停止を押して時計アイコンが消えるまでは、リセットスイッチを押さないでください。録音ファイルが正常に保存されない場合があります。

「オートシンク」なしで録音する

ファイル（曲）を分割したくない場合は、「オートシンク」なしで録音してください。録音後にファイル(曲）を分割できます。（➔118ページ）

1 **CD／MDプレーヤーなどの音声出力を本体のRECジャック（ヘッドホンジャック兼用）に接続する**

2 **トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ダイレクト録音」を選ぶ**

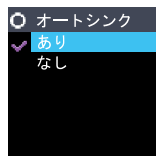
右ボタンまたはエンターボタンを押す

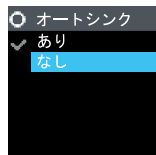
ダイレクト録音画面が表示されます。

3 クイックボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

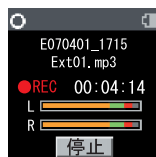
4 右ボタンまたはエンターボタンを押す

オートシンクの設定画面が表示されます。

5 上または下ボタンで「なし」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

6 エンターボタンを押す

録音が始まります。他のプレーヤーの再生を開始してください。

録音を終了するには、もう一度エンターボタンを押します。

バックボタンを押した場合も録音は終了します。

お知らせ

- 録音を開始する前に、レベルメーターの緑のエリアにメーターがふれる程度に他のプレーヤーの出力音量を調節してください。
- 次回、オートシンクで録音する場合は「オートシンク」を「あり」に戻してください。
- 録音中、停止を押して時計アイコンが消えるまでは、リセットスイッチを押さないでください。録音ファイルが正常に保存されない場合があります。

録音したファイルを再生する

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「ライブラリ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ライブラリのメニュー画面が表示されます。

2

上または下ボタンで「アーティスト」を選ぶ

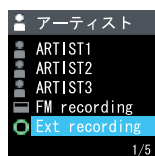
右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで再生したい録音ファイルの種類を選ぶ

- FM recording：FMラジオ録音
- Ext recording：ダイレクト録音

「FM recording」と「Ext recording」は、アーティスト一覧の最後に表示されます。

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで再生したい録音ファイルを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

再生が始まります。

再生を一時停止するには、もう一度エンターボタンを押します。

お知らせ

- 再生モード（➔70ページ）、イコライザ（➔74ページ）の設定にしたがって、再生します。
- 再生中の操作は、「再生中にできること」（➔65ページ）をご覧ください。

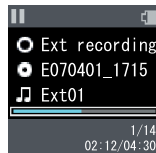
ダイレクト録音で録音したファイルを分割する

ダイレクト録音で録音したアルバムのファイルを曲ごとに分割できます。

1 分割したいアルバムを選んで再生する

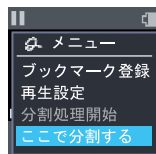
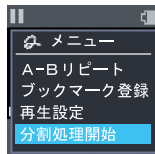
ダイレクト録音で録音したアルバムを再生するには、「録音したファイルを再生する」（➔116ページ）をご覧ください。

2 ファイルを分割したいところで停止させ、クイックボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

3 上または下ボタンで「ここで分割する」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ファイルの分割位置が指定されます。

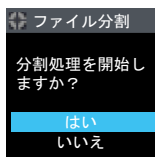
最大20箇所まで指定できます。

4 **クイックボタンを押しクイックメニューを表示させ、上または下ボタンで「分割処理開始」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

分割開始の確認画面が表示されます。

5 **上または下ボタンで「はい」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

ファイル（曲）が分割されます。

ファイル分割
分割処理を開始しますか？
はい
いいえ

Ext01、Ext02、Ext03が存在し、Ext02を2つに分割した場合

トラックNo	曲名	ファイル名
1	Ext01	Ext01
2（分割した前半部分）	Ext02	Ext02
3（分割した後半部分）	Ext02（同じ曲名）	Ext04（最大数＋1）
4	Ext03	Ext03

お知らせ

- 分割処理をしないでトップメニューに移ると分割位置の指定は解除されます。
- A-Bリピート中は、クイックメニューで「ここで分割する」は選べません。
- 分割できるのは、ダイレクト録音したアルバムだけです。

録音したファイルの曲名を編集する

FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音したファイル（曲）の曲名を編集できます。

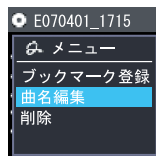
1 **FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音した曲で、曲名を編集したい曲を選んで、クイックボタンを押す**

クイックメニューが表示されます。

FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音した曲を選ぶには、「録音したファイルを再生する」（➔116ページ）をご覧ください。

2 **上または下ボタンで「曲名編集」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

曲名編集の設定画面が表示されます。

3 左／右／上／下ボタンとクイックボタンで文字を編集する

左：選択位置を左に移動します。文字の先頭で押すと、新規入力欄または15文字目に移動します。

右：選択位置を右に移動します。新規入力欄または15文字目で押すと、文字列の先頭に移動します。

上：選択位置の文字を変更します。押すたびに下記のように変わります。

“A”➔“B” ➔…➔“Y”➔“Z” ➔
” [” ➔”] ” ➔” _ ”➔“a”➔“b” ➔…➔“y”➔
“z”➔“ ”➔“0”➔“1” ➔…➔“8”➔“9”➔
“A” ➔…

下：選択位置の文字を変更します。押すたびに上と逆の順番で変わります。

クイック：選択位置の文字を削除します。文字は左につまります。
クイックボタンを長押しすると、編集している曲名の文字すべてが削除されます。

エンターボタンを押す

確認画面が表示されます。

上または下ボタンで「はい」を選ぶ

右またはエンターボタンを押す

曲名が確定し、曲の一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 曲名は15文字まで入力できます。
- 変更途中でバックボタンを押すと編集中断画面が表示されます。「キャンセルして終了」を選ぶと、変更を保存しないで曲の一覧画面に戻ります。
- 曲名の文字すべてを削除したあと、クイックボタンを押した場合は、編集中断画面が表示されます。
- 再生画面からもクイックメニューで「曲名編集」を選べます。
- A-Bリピート中は、クイックメニューで「曲名編集」は選べません。

録音したファイルを削除する

FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音したファイルを削除できます。

1

FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音した曲で、削除したい曲を選んで、クイックボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

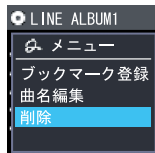
FMラジオ録音／ダイレクト録音で録音した曲を選ぶには、「録音したファイルを再生する」（➔116ページ）をご覧ください。

2

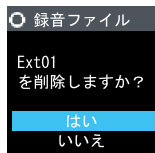
上または下ボタンで「削除」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

3

上または下ボタンで「はい」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

選んだファイルが削除されます。

お知らせ

- 再生画面からもクイックメニューで「削除」を選べます。
- A-Bリピート中は、クイックメニューで「削除」は選べません。

パソコンを使って録音した内容を削除する

1 gigabeatをUSBケーブルでパソコンと接続する

2 エクスプローラで、gigabeat内の「FM Recording」フォルダまたは「Ext Recording」フォルダを選ぶ

（Windows Media Player 11がインストールされている場合）
「TOSHIBA gigabeat U」－「Storage」内
（Windows Media Player 10がインストールされている場合）
「TOSHIBA gigabeat U」－「メディア」内
（Windows Media Player 11または10がインストールされていない場合）
gigabeatのドライブ内

- FM Recordingフォルダ：FMラジオ録音のファイル
- Ext Recordingフォルダ：ダイレクト録音のファイル

3 フォルダ内の削除したいファイルを右クリックする

4 表示されたショートカットメニューの「削除」を選ぶ

5 削除しますかの画面で「はい」をクリックする

選んだファイルが削除されます。

お知らせ

- Windows Media Playerを使っても削除できます。
  同期の表示にして、gigabeat内のライブラリから削除したいファイルを右クリックし、「削除」または「デバイスから削除」をクリックします。

FM出力し、他のFMラジオで受信する

内蔵のFMトランスミッターにより、再生音声をFM電波で送信し、他のFMラジオで受信できます。

ヘッドホンのケーブルが送信アンテナの働きをしますので、ヘッドホンをgigabeatに接続して使用してください。ヘッドホンを使用しない場合でも、ヘッドホンを接続してケーブルを長く伸ばしてください。

ヘッドホンのケーブルは、ピンと張った状態が一番よく送信できます。ケーブルが束ねられていたり、まとまっていたりすると出力が低下します。

相手機器がよく受信できない場合は、できるだけケーブルを伸ばしてお使いください。

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

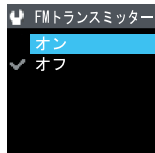
上または下ボタンで「FMトランスミッター」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで「オン」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

発信周波数の設定画面が表示されます。

4

上または下ボタンで周波数を設定する

周波数は0.1MHz単位で設定できます。
設定周波数範囲：88.0MHz～89.9MHz

エンターボタンを押す

gigabeatからの再生音声が、設定した周波数のFM電波で送信されます。

5

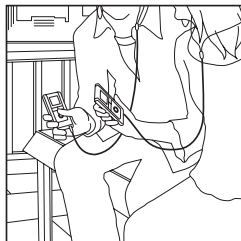
受信するFMラジオを設定した周波数に合わせる

gigabeatから送信した音声がFMラジオのスピーカーから出力されます。
FMラジオの受信のしかたは、お使いのFMラジオの取扱説明書をご覧ください。

トップメニュー画面や再生画面で、クイックボタンを1秒以上長押ししても、「FMトランスミッター」のオン／オフを切り換えできます。

ペアリング機能を楽しむ

相手もgigabeat U（またはFMチューナー付きのオーディオプレーヤー）を持っていれば、二人で同じ音楽を楽しむことができます。

それぞれヘッドホンケーブルを伸ばした状態で使用してください。

1 126ページからの手順1～5にしたがって、相手のプレーヤーで受信できるようにする

2 本機で音楽を再生する

相手のプレーヤーにも同じ音楽が流れ、二人で同じ音楽を楽しめます。

お願い

- 他の放送局が放送していない周波数に設定してください。
- ペアリング機能で受信した音は、元の音より音質が悪くなることがあります。
- 受信状態がよくない場合は、他のFMラジオのアンテナにもっと近づけるなど位置を調整してください。
- 市街地などでは、ミニFM放送局、アマチュア無線などの影響により、受信状態が悪くなり、音が途切れたりノイズがはいったりすることがあります。その場合は、別の周波数に変更してみてください。
- FM トランスミッターの出力は、FM 放送などの電波を妨害しない微弱電波を使用しています。微弱電波は極めて弱い電波のため、電波塔等の強い電波を出すものの近くでは、送信電波を受信できない場合があります。

- 音量を上げると、受信側の音声がひずむ場合があります。その場合は、音量を下げてご使用ください。
- 「FM トランスミッター」をいったん「オン」に設定すると、電源を切って次に電源を入れたときも「オン」のままです。FMトランスミッターを使用すると、多量の電力を消費し、電池の残量が少なくなります。FMトランスミッターの使用後は、設定を「オフ」に戻してください。
- ペアリング機能で受信した音楽等の録音は、著作権に抵触することがありますのでご注意ください。

タイマーを使う

タイマーでアラームを鳴らす（カウントダウンタイマー）

設定した時間（最長99分59秒）経過後にアラームを鳴らせます。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「タイマー」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

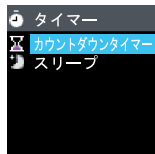
タイマーのメニュー画面が表示されます。

2

上または下ボタンで「カウントダウンタイマー」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

カウントダウンタイマーの設定画面が表示されます。

3

左／右／上／下ボタンとクイックボタンで時間を設定する

左：選択位置を左に移動します。

分（10の位）➔秒（1の位）➔秒（10の位）➔分（1の位）➔分（10の位）

右：選択位置を右に移動します。

分（10の位）➔分（1の位）➔秒（10の位）➔秒（1の位）➔分（10の位）

上：選択位置の数値をふやします。

下：選択位置の数値を減らします。

クイック：設定値をクリアします。

カウントダウンタイマー
10:00
[Enter] 開始
[ ] クリア

4

エンターボタンを押す

カウントダウンタイマーが設定され、カウントダウンが始まります。

もう一度エンターボタンを押すと、カウントダウンが停止します。

さらにもう一度エンターボタンを押すと、カウントダウンが再開します。

カウントダウンが0になったとき、タイムアウトの通知画面が表示されます。再生中の音楽などは停止し、アラームが鳴ります。

エンターボタンまたはバックボタンを押すと、アラームは停止します。

カウントダウンタイマー
09:59
[Enter] 停止

お知らせ

- カウントダウン中、録音操作はできません。
- カウントダウン中に電源を切ると、カウントダウンは解除されます。
- 他の画面を表示後、カウントダウンの時間を確認するには、手順1〜3を行ってください。
- アラームは1分で停止します。

指定した時間後に電源を切る（スリープ）

指定した時間後にgigabeatの電源を切ることができます。ただし、オートパワーオフ（→138ページ）を5分に設定したときは、何も操作しないと約5分で電源が切れます。

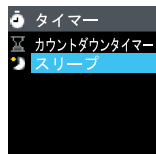
1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「タイマー」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

上または下ボタンで「スリープ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで何分後に電源を切るかを選ぶ

「オフ」を選ぶとスリープ機能は働きません。

右ボタンまたはエンターボタンを押す

お知らせ

- 指定した時間後が録音中の場合でも、録音を停止し電源が切れます。
- USB接続中は、電源は切れません。

その他の設定

ディスプレイ(画面オフ)

何も操作しない状態が何分続くと自動的に画面をオフにするかを設定します。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

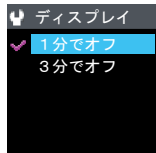
右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

上または下ボタンで「ディスプレイ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンを押して何秒後に画面をオフにするかを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

お知らせ

- フォト表示中、USB 接続中、録音画面、曲名編集画面、カウントダウン画面、確認画面などでは、画面オフになりません。

時計

gigabeatが何も操作しない状態になったとき、時計を表示させることができます。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

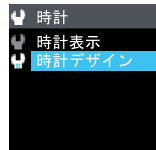
2

上または下ボタンで「時計」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで「時計デザイン」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

4 上または下ボタンで時計のデザインを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

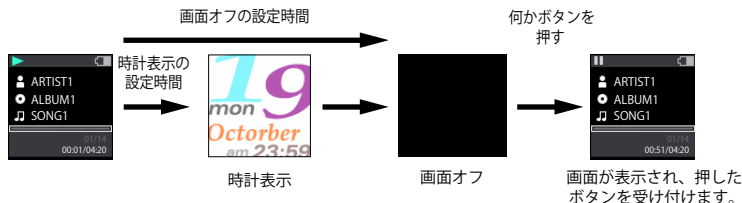
5 上または下ボタンで「時計表示」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

6 上または下ボタンで何秒後に時計を表示させるかを選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

お知らせ

- フォト表示中、USB 接続中、録音画面、曲名編集画面、カウントダウン画面、確認画面などでは、時計表示になりません。
- 何も操作しない状態になると、以下のようになります。

オートパワーオフ

何も操作しない状態が5分間続くと自動的に電源をオフにするかを設定します。（音楽の再生、フォトの表示、FMラジオの受信、録音などの動作中を除く。）

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

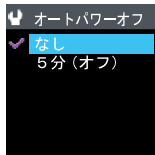
上または下ボタンで「オートパワーオフ」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで「なし」または「5分（オフ）」を選ぶ

なし：　何も操作しない状態になっても自動的に電源は切れません。

5分（オフ）：5分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。

右ボタンまたはエンターボタンを押す

お知らせ

- カウントダウン中、USB接続中、別売のUSB ACアダプターで充電中の場合も、オートパワーオフは働きません。

日付と時刻

gigabeatの日付と時刻を設定します。

1

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

上または下ボタンで「日付と時刻」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

左または右ボタンで変更したい項目を選ぶ

- 右：時刻形式→年→月→日→時→分
- 左：右と逆方向

上または下ボタンで値を変更する

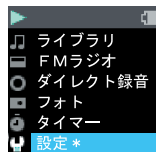
4

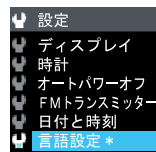
すべて設定したら、エンターボタンを押す

言語設定

gigabeatの表示言語を選ぶことができます。

1 **トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2 **上または下ボタンで「言語設定」を選ぶ**

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3 **上または下ボタンで表示言語を選ぶ**

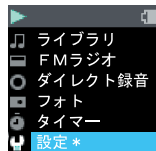
右ボタンまたはエンターボタンを押す

設定の初期化

gigabeatの設定を出荷時の状態に戻します。

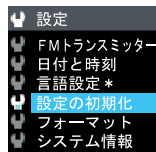
1

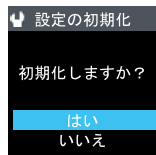
トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

上または下ボタンで「設定の初期化」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

3

上または下ボタンで「はい」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

お知らせ

- カウントダウンタイマー、スリープも解除されます。
- 日付と時刻は、初期化されません。時刻形式は初期化されます。

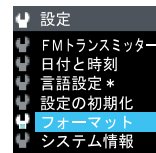
フォーマット

gigabeatの内蔵フラッシュメモリをフォーマットできます。ただし、フォーマットすると、gigabeat に記録したすべてのデータが消えます。ファームウェア（gigabeatが動作するためのソフトウェア）は消えません。

トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

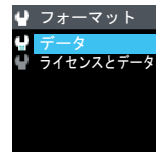
右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンで「フォーマット」を選ぶ

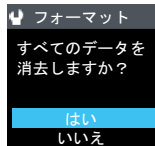
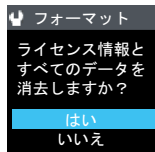
右ボタンまたはエンターボタンを押す

上または下ボタンでフォーマットの範囲（「データ」または「ライセンスとデータ」）を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

データ：データは消去されますが、Windows Media DRMのライセンス情報は消去されません。

ライセンスとデータ：データのほか、Windows Media DRMのライセンス情報も消去されます。

上または下ボタンで「はい」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

フォーマットを開始します。

「データ」を選んだ場合

「ライセンスとデータ」を選んだ場合

お知らせ

- Windows Media DRMで保護された音楽を転送すると、gigabeat内のシステム領域にライセンス情報が保存されます。音楽を消しても、そのライセンス情報は消えないため、ライセンス情報が大量に増えると、音楽データが転送できなくなる場合や、転送した音楽データが再生できなくなる場合があります。その場合は、「ライセンスとデータ」を選んでください。

お願い

- フォーマットする場合の注意事項
  何らかの原因でフォーマットの必要性が生じた場合、またはお客様の任意でフォーマットする場合、フォーマットを実行すると、すべてのデータは消去されますのでご注意ください。
  フォーマットする前には、以下のようにパソコンと接続して、大事なファイルをパソコンに保存してください。
  1. gigabeatをUSBケーブルでパソコンと接続する
  2. エクスプローラで、マイコンピュータの中の「TOSHIBA gigabeat U」を選ぶ（USBマスストレージクラス接続の場合は、gigabeatのドライブを選ぶ）
  3. その中の保存したいファイルを右クリックし、表示されたショートカットメニューから「コピー」を選ぶ
  4. パソコン内の保存したい場所で右クリックし、表示されたショートカットメニューから「貼り付け」を選ぶ
     ・「FM Recording」フォルダ：FMラジオ録音のファイルがはいっています。
     ・「Ext Recording」フォルダ：ダイレクト録音のファイルがはいっています。
     ・「Music」フォルダ：Windows Media Playerで転送した音楽ファイルがはいっています。
     ・「Pictures」フォルダ：Windows Media Playerで転送した画像ファイルがはいっています。

  そのほか、お客様が任意のフォルダに転送したファイルが必要であれば保存してください。
- USBマスストレージクラスで接続したパソコンで、エクスプローラを使ってフォーマットしないでください。

システム情報

gigabeatのバージョン情報を表示します。

1

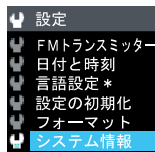
トップメニュー画面で、上または下ボタンを押して「設定」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

2

上または下ボタンで「システム情報」を選ぶ

右ボタンまたはエンターボタンを押す

バージョン情報が表示されます。

3 **バックボタンまたは左ボタンを押す**

設定のメニュー画面に戻ります。

用語

MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格。この圧縮方式では、約1/10から1/12の圧縮率が得られます。

MTP（Media Transfer Protocol）

マイクロソフト社が開発したデータ転送方式。Windows Media DRM10で保護されたデータの転送は、MTPで行われます。

USBマスストレージクラス（USB Mass Storage Class）

USBケーブルを使用してパソコンに接続すると、HDDのようなドライブとして認識される周辺機器の規格です。USBストレージクラスともいいます。

WAV

Windowsの標準的な非圧縮音声ファイルです。

Windows Media DRM10

マイクロソフト社の著作権保護技術で、Windows Media Player10から対応しています。通常のコピー防止のほかに定額配信（サブスクリプション）にも対応しています。

WMA (Windows Media Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式、およびそれを使用したオーディオファイルです。

イコライザ

いくつかの周波数帯域ごとに、つまみなどで目盛りを増減して、音質をコントロールする装置や機能です。

おもなエラーメッセージ

下表のようなエラーメッセージがgigabeat本体の画面に表示されることがあります。以下の対処方法に従ってください。

メッセージ	対処方法
バッテリー残量がありません	USBケーブルでパソコンと接続して、内蔵電池を充電してください。
カウントダウン中は録音できません	カウントダウンを停止してから、録音を始めてください。
ディスクがいっぱいです	不要な曲、写真を削除してください。
写真がありません	写真データをgigabeatに転送してください。
データがありません	音楽データをgigabeatに転送してください。
ブックマークの登録は30曲までです	ブックマークに登録している曲を解除し減らしてください。
ライセンスが切れています PCと同期してください	その曲を転送したパソコンと同期してください。（➔60ページ） またはライセンスが切れていない曲を転送し直してください。
ライセンスを取得できないため音楽再生ができません	その曲を転送したパソコンと同期してください。（➔60ページ） またはライセンスが切れていない曲を転送し直してください。
楽曲数の上限に達したため分割できません	不要な曲を削除してください。

メッセージ	対処方法
楽曲数の上限に達したため録音できません	不要な曲を削除してください。
この楽曲は編集できません	曲名（タイトルタグ）を半角英数、特定文字だけにしてください。 特定文字とは、“ [”、“] ”、“ _ ”（アンダーバー）、“ ”（スペース）です。
オートシンクでの録音は99曲までです	オートシンクで一度にできる分割は99曲までです。分割できなかったところからオートシンクで録音し直すか、オートシンクをオフにして録音してから、分割してください。
同時刻にてこれ以上録音できません	1分待ってから録音してください。 FMラジオの録音やダイレクト録音は、同時刻（同時分）では100個までです。
楽曲数の上限に達したため登録できなかった楽曲があります	曲の登録は1000曲までです。不要な曲を削除してから再度転送してください。
ファイル分割できない楽曲がありました	1つのアルバムでの分割は255曲までです。不要な分割曲を削除してから分割してください。 また、曲名（タイトルタグ）やファイル名を変更すると、分割できない場合があります。
システムエラー	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。

メッセージ	対処方法
データベースが異常です	フォーマットしてください。ただし、データは消えますので、転送し直してください。
ファイルエラー	フォーマットしてください。ただし、データは消えますので、転送し直してください。
メモリエラー	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
音楽再生ができません	本機では再生対応していないデータです。
録音できません	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
削除できません	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
HWの異常です	修理を依頼してください。
この機器とは接続できません	本機が対応しているOSのパソコンに接続してください。
充電障害が発生しました	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
FM出力ができません	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
分割指定出来ません	再生を少し進めて、指定し直してみてください。

メッセージ	対処方法
ファイル分割に失敗しました	電源を入れ直してください。またはリセットして、再度電源を入れてください。
USB通信エラー	USBケーブルを一度抜き、再度接続してください。

リセットについては、「リセットする」（➔154ページ）をご覧ください。
フォーマットについては、「フォーマット」（➔143ページ）をご覧ください。

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

現象	原因	対処	参照
電源がはいらない、ボタンを押しても動作しない	内蔵電池の残量がなくなっている。	USBケーブルでパソコンと接続して、内蔵電池を充電してください。	→31ページ
	HOLD状態になっている。	HOLDスイッチを戻し、HOLD状態を解除してください。	→26ページ
	パソコンと接続している。	パソコンと接続しているときは本体の操作はできません。	→32ページ
充電してもすぐに残量がなくなる	内蔵電池が劣化している。	新しい内蔵電池に交換してください。内蔵電池の交換は、モバイルAVサポートセンターへご依頼ください。	→21ページ
再生できない	音楽データがない。	Windows Media Player 11、10または9シリーズを使って音楽データを転送してください。	→45ページ

現象	原因	対処	参照
音が聞こえない	ヘッドホンが正しく接続されていない。	ヘッドホンと本体の接続を確認してください。	→57ページ
	音量の調節が最小になっている。	音量を調節してください。	→65ページ
パソコンと接続をしても充電中の画面にならない	正しく接続されていない。	USBケーブルと本体の接続を確認してください。	→31ページ
	使用温度の範囲をはずれている。	使用温度の範囲内で充電してください。	→157ページ
パソコンがgigabeatを認識しない	パソコンと正しく接続されていない。	パソコンとの接続を確認してください。	→31ページ

リセットする

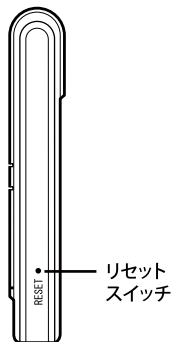
もしも上記の対処法でも現象が解決しない場合などには、本体を以下の方法でリセットしてみてください。

本体左側のリセットスイッチを押す

先の細いボールペンなどで押してください。

設定は日付と時刻を除き前回電源を切った時点の状態に戻ります。

日付と時刻は設定し直してください。

それでも解決しない場合は、アフターサービスにご依頼ください。（→167ページ）

お知らせ

- リセットスイッチはむやみに押さず、電源を入れ直しても復帰しなかったときに押してください。
- リセット後に電源を入れたときは、システムの初期化のため、通常の起動時間よりも時間がかかります。

困ったときは

状況：　gigabeatの言語を変更したら、元に戻す方法がわからなくなった。
対策：　以下に従って言語を設定してください。

1 バックボタンを1秒以上長押しし、トップメニュー画面を表示させる

2 上ボタンを1回押し「*」が付いている項目を選ぶ

3 右ボタンまたはエンターボタンを押す

4 下ボタンを5回押し「*」が付いている項目を選ぶ

5 右ボタンまたはエンターボタンを押す
言語の選択メニューが表示されます。

6 上または下ボタンを押し、設定したい言語を選ぶ

7 右ボタンまたはエンターボタンを押す

仕様

再生オーディオ形式	● WMA (Windows Media Audio) ● MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3) ● WAV (PCM)
再生静止画形式	JPEG
サンプリング周波数	22.05kHz〜48kHz （→159ページ）
ビットレート	16kbps〜320kbps （→159ページ）
記録媒体	U101/U102：内蔵フラッシュメモリ1GB（*1） U201/U202：内蔵フラッシュメモリ2GB（*1）
収録時間	U101/U102：約16時間（*2）（ビットレート128kbps時） U201/U202：約32時間（*2）（ビットレート128kbps時）
連続再生時間	約20時間（*2） 常温（25℃）、ディスプレイオフ、FMトランスミッターオフ、イコライザFLAT、工場出荷時の音量で、128kbps、44.1kHzのWMAオーディオデータの場合（Windows Media DRM10で保護されたコンテンツを除く） この連続再生時間は、使用条件、使用周囲温度、内蔵電池の充電繰返し回数などによって変わるため、あくまで目安であり、保証する時間ではありません。使用条件の範囲内でも低温の環境で使うと連続再生時間は短くなります。
表示画面	1.1型カラー有機ELディスプレイ（96×96ドット，65,536色）
FMラジオ録音	ステレオ、MP3 サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbps

ダイレクト録音	ステレオ、MP3 サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbps
FMラジオ受信	76MHz～108MHz
FMトランスミッター送信周波数	88.0MHz ～ 89.9MHz
USB端子	USB2.0/USB1.1（*3）
ヘッドホン端子／REC端子	3.5mmジャック／ステレオタイプ／ 負荷インピーダンス16Ω／入力インピーダンス25kΩ
外形寸法（突起部除く）	U101/U201：幅36.2mm×高さ76.5mm×奥行10.9mm （奥行11.9mm アクリル部含む） U102/U202：幅36.2mm×高さ76.7mm×奥行11.4mm （奥行12.4mm アクリル部含む）
質量	U101/U201：約36g（本体のみ） U102/U202：約42g（本体のみ）
電源	内蔵リチウムイオン充電池、USB充電
S/N比	85dB
使用条件	温度：5℃～35℃　湿度：30%～80%（RH） （ただし結露しないこと）

*1：本書の容量記載は、フラッシュメモリーの標準に従い、1GBは2^{30}=1,073,741,824バイトで算出しています。また、Windows Media Playerでデバイス情報を見ると残容量が見えますが、これも同じ方法で出している数値です。
gigabeatには基本ソフトウェア、アプリケーションがプレインストールされているため空き容量はより少なくなります。
実際に音楽などのコンテンツを保存に利用できる容量は、表記の容量より少なくなります。

*2：これらの値は参考値であり、保証する値ではありません。
*3：USB2.0で動作するには、USB2.0インターフェースを標準搭載、または増設しているパソコンが必要です。USB1.1インターフェースと接続すると、USB1.1として動作します。

サンプリング周波数とビットレートの組合せについて

本gigabeatで再生できる音楽データは、サンプリング周波数とビットレートの組合せが以下のとおりとなります。これ以外の組合せの音楽データは、正常に再生できない場合があります。

MP3（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：32kbps～320kbps

MP3（モノラル）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：16kbps～192kbps

WMA（ステレオ）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート：48kbps～192kbps

WMA（モノラル）の場合

サンプリング周波数：44.1kHz
ビットレート：32kbps

WAV（ステレオ／モノラル）の場合

サンプリング周波数：22.05kHz、32kHz、44.1kHz
ビットレート：非圧縮

お知らせ

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくしているために実際とは多少異なる場合があります。
- アイコンの表示位置などは変更になる場合があります。

内蔵電池の取り出しかた

gigabeatを廃棄するとき、内蔵電池を取り出してください。
廃棄するとき以外は、gigabeatを絶対に分解しないでください。
内蔵電池の取り扱いについては下記注意事項をご覧いただき、再度21ページをご覧ください。

⚠危険

内蔵電池にクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池の電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱・破裂・発火する原因となります。

内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中にいれないこと

破裂・発火・発熱によって、火災・大けがの原因となります。

火のそばや炎天下などに置かないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。

熱器具に近づけないこと

火災・破裂・発熱の原因となります。

内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

⚠警告

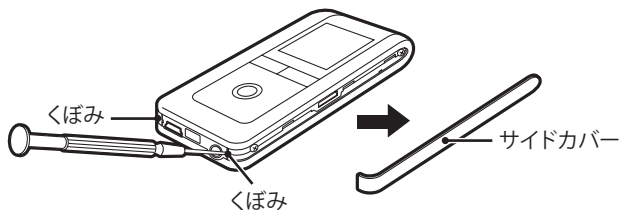
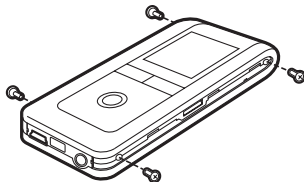
内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

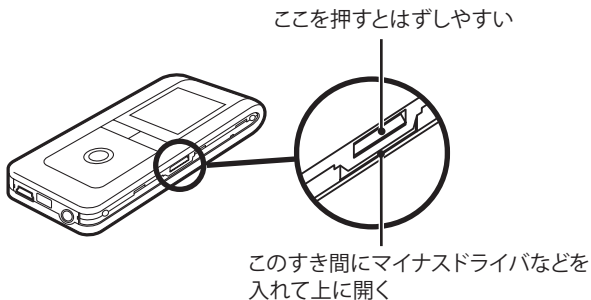
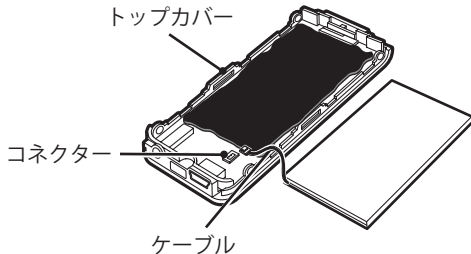
けが・事故の原因となります。

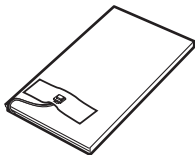
内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の診療を受けること

そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。

1 両側のカバーをはずす

底面のくぼみに、小さいマイナスドライバーなどを入れ、サイドカバーをはがす。反対側も同様にはずします。

2 側面のネジ4箇所を精密ドライバー（+）ではずす

3 バックカバーをはずす

中央部にトップカバーとバックカバーを引っ掛けている部分があるので、マイナスドライバーなどで、引っかかりをはずします。反対側も同様にはずします。

4 トップカバー側のコネクターからケーブルをはずす

5 ケーブルを電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れる

ケーブルのコネクター部分をテープでおおうようにして電池本体に貼り付け、ポリ袋などに入れてください。

お知らせ

- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取りはずしてください。
- 一度取り出した内蔵電池は、再度コネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店（➔21ページ）へお持ちください。

FCC information

Model Number(s): MEU101, MEU201

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- ❑ Reorient or relocate the receiving antenna.
- ❑ Increase the separation between the equipment and receiver.
- ❑ Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- ❑ Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING : *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and USB connector. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone : (949) 583-3000

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

部品について

修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？…と思ったときは」（➔152ページ）をご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、「東芝モバイル AV サポートセンター」（➔169ページ）にご相談ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品　　　名	デジタルオーディオプレーヤー
形　　　名	MEU101/MEU201/MEU102/MEU202
お買い上げ日	年　　月　　日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電 話 番 号	

東芝モバイルAVサポートセンター

使いかた、修理、故障、アプリケーションソフトに関するお問い合わせ窓口

TEL：0570-05-7000（ナビダイヤル）
FAX：03-3258-0470

受付時間：月～土 10:00～20:00（祝祭日、年末年始等、当社休業日を除く）

ホームページもご覧ください。
http://www.gigabeat.net/

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001　東京都港区芝浦1－1－1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください

U_02_JP_JP